



ViewFramer ユーザーガイド

Salesforce ver. (Excel/Word Office アドイン/ ヘッダー明細)

Ver.1.7

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/08/21	新規作成
1.1	2020/05/15	7.出力アクションの作成について古い内容の修正
1.2	2020/07/07	「1.2 注意事項と制限事項」の更新
1.3	2020/09/28	画像のタグ挿入に関して更新された機能の説明を追加
1.4	2020/12/01	出力バージョンの違いについて追記
1.5	2021/06/07	「7.出力アクションの作成」に、リクエストの際のパラメータ「nsPrefix」についての説明を追記
1.6	2021/06/22	Excel アドインの[現在位置の行を繰り返し出力する]ボタンについて、[繰返し] ボタンにラベルを変更
1.7	2022/01/07	7.出力アクションの作成について古い内容の修正 「5.1 ViewFramer ログイン」の注意点を追記
1.8	2025/09/01	5.2 接続アプリケーションのインストールの注意点を追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中にTMマーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、ViewFramerをご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	6
1.1 Office アドインを使用した帳票テンプレート作成の特徴	6
1.2 注意事項と制限事項	8
1.3 ヘッダー明細型	9
2. 全体の流れ	10
2.1 テンプレートを白紙から作成する場合	10
2.2 既存のテンプレートファイルを流用する場合	11
3. テンプレートのデザイン	12
3.1 Excel の場合	12
3.1.1 テンプレート作成 ブランク	12
3.1.2 帳票デザイン	16
3.1.3 マッピング	17
3.1.4 ファイルのアップロード	28
3.1.5 テンプレート作成 アドイン入り Excel アップロード	32
3.2 Word の場合	36
3.2.1 テンプレート作成 ブランク	36
3.2.2 帳票デザイン	39
3.2.3 マッピング	40
3.2.4 ファイルのアップロード	46
3.2.5 テンプレート作成 アドイン入り Word アップロード	50
4. その他機能	54
4.1 便利な機能	54
4.1.1 フィールドを一括で作成する	54
4.1.2 アドインを自動で表示する	55
4.1.3 ファイルの絶対パスをコピー & ペーストする	55
4.1.4 フィールドを並び替え／リネーム／削除する	57
4.2 応用機能	58
4.2.5 複数シートにマッピングする	58
4.2.6 同一のセルに複数のフィールドをマッピングする	59
4.2.7 行の高さを調整する	61
5. ビュー定義	62

5.1	ViewFramer ログイン	62
5.2	ヘッダービューの定義	63
5.2.1	ビューの作成	63
5.2.2	ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定	63
5.2.3	ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定	64
5.2.4	ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定	65
5.2.5	ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件	66
5.3	明細ビューの定義	67
5.3.6	ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定	67
5.3.7	ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定	67
5.3.8	ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定	68
5.3.9	ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件	69
6.	マッピング定義	70
6.1	マッピングの作成	70
6.2	マッピング管理: 詳細画面	70
6.3	マッピング管理: 出力設定画面	72
7.	出力アクションの作成	74
7.1	詳細ページに出力アクションを配置する	74
7.2	リストビューに出力アクションを配置する	82

1. はじめに

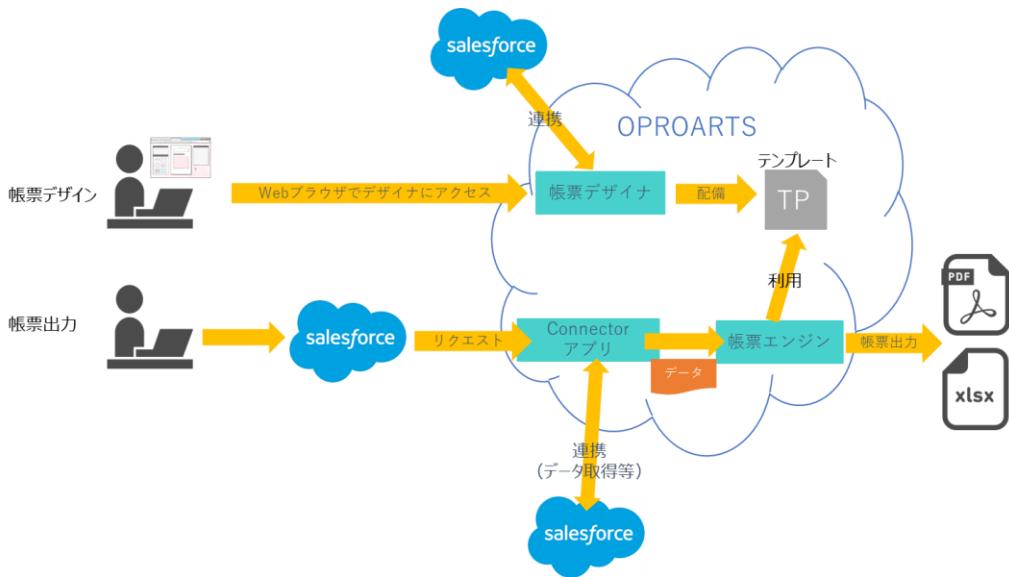
ここでは Office アドインを使用したテンプレートを作成する上での要点・注意事項について説明します。

また、ViewFramer で出力する帳票を作成するにあたって重要な「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

1.1 Office アドインを使用した帳票テンプレート作成の特徴

OPROARTS で帳票出力をするにあたり、ユーザーは帳票のテンプレートを OPROARTS サーバ上に配備する必要があります。このテンプレートの見た目のデザインと、帳票と CSV データのマッピング作業は OPROARTS Live デザイナを用いて行うことができます

帳票デザインに Office アドインを使わない OPROARTS での帳票出力のイメージ

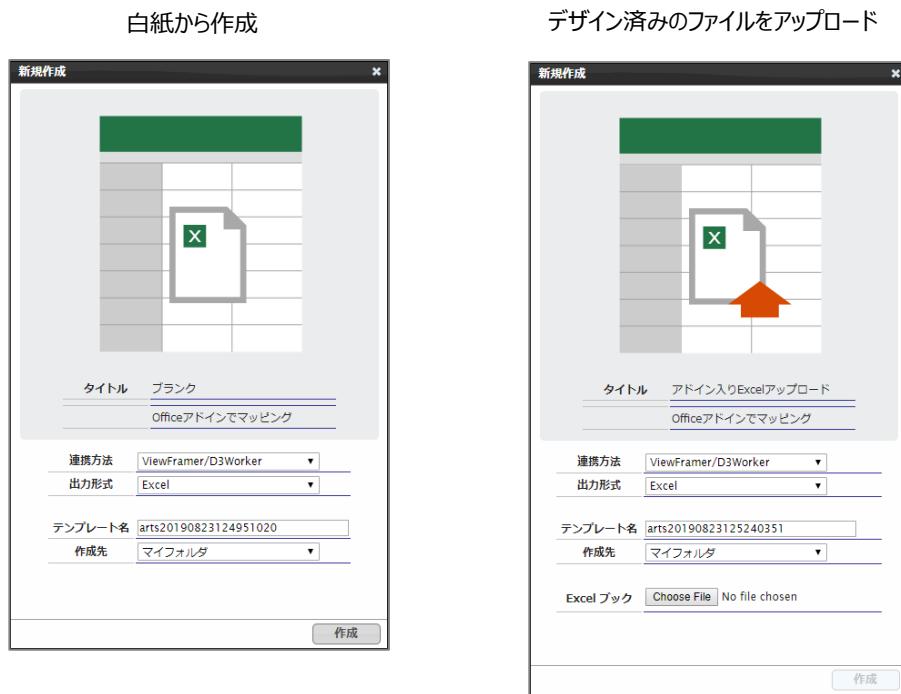


しかし Excel や Word 形式の帳票であれば

アドインを挿入することで使い慣れた Excel や Word 上でデザインとマッピングの両方を行うことができます。

The screenshot shows the OPRO Document Designer interface. On the left, a Microsoft Excel spreadsheet displays a bill of sale template with several cells highlighted by a red box. On the right, the OPRO Document Designer window shows the template structure. The bottom right corner of the designer window is highlighted with a red box, indicating the location of the "Edit" button.

また、OPROARTS Live の帳票作成画面からアドイン入りの Excel/Word ファイルをダウンロードし、それを基に帳票テンプレートのデザインを進める方法と、既にデザインが済んでいる Excel/Word ファイルにアドインを挿入して、マッピング作業を行ってから OPROARTS Live にアップロードする 2 つの方法が用意されています。



詳しくは [3. テンプレートのデザイン](#)にて説明しています。

1.2 注意事項と制限事項

Office アドインを使用したテンプレート作成における操作上の注意事項と制限事項、推奨ブラウザやブラウザの設定について説明します。

■ 注意事項

本マニュアルに記載している操作を行う際は、「OPROARTS Designer」にログインしてください。

■ 制限事項

Office アドインが動作する Microsoft Office のバージョンは、次のとおりです。

動作対象／対象外	バージョン	備考
動作対象	Microsoft Office 2013 以上	Office アドインをインストールできる権限が必要です。
	Office 2016 for Mac 以上	
	Office Online	

※生成されたドキュメントを開くだけであれば Microsoft Office 2010 以上でご利用可能です。

■ 推奨ブラウザ

推奨ブラウザは「Google Chrome」または「Mozilla Firefox」です。最新バージョンを使用してください。

1.3 ヘッダー明細型

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を2つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16	商品コード	商品名	単価	数量	全額				
17	00001	商品1	100,000	1	100,000				
18	00002	商品2	100,000	1	100,000				
19	00003	商品3	100,000	1	100,000				
20	00004	商品4	100,000	1	100,000				
21	00005	商品5	100,000	1	100,000				
22			合計		500,000				
23			消費税		40,000				
24			総合計		540,000				
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

ViewFramer からこのヘッダー明細型帳票を作る場合、主に

非明細部: ヘッダービュー(起点となるオブジェクトから抽出したデータ)

明細部: 明細ビュー(起点となるオブジェクトの子オブジェクトから抽出したデータ)

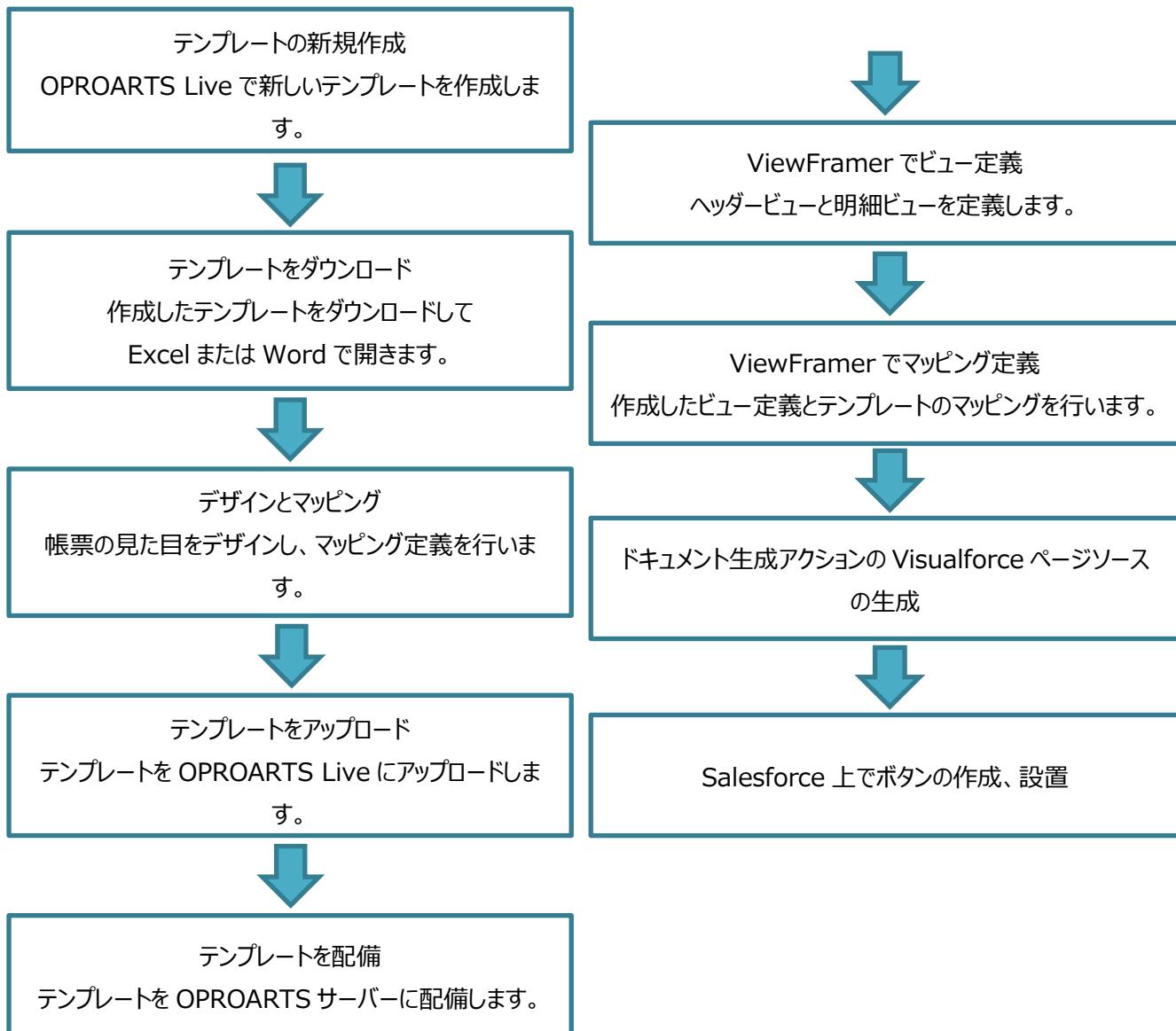
を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

つまり、非明細部に用いる起点オブジェクトと明細部に用いる子オブジェクトは1対nの関係になります。

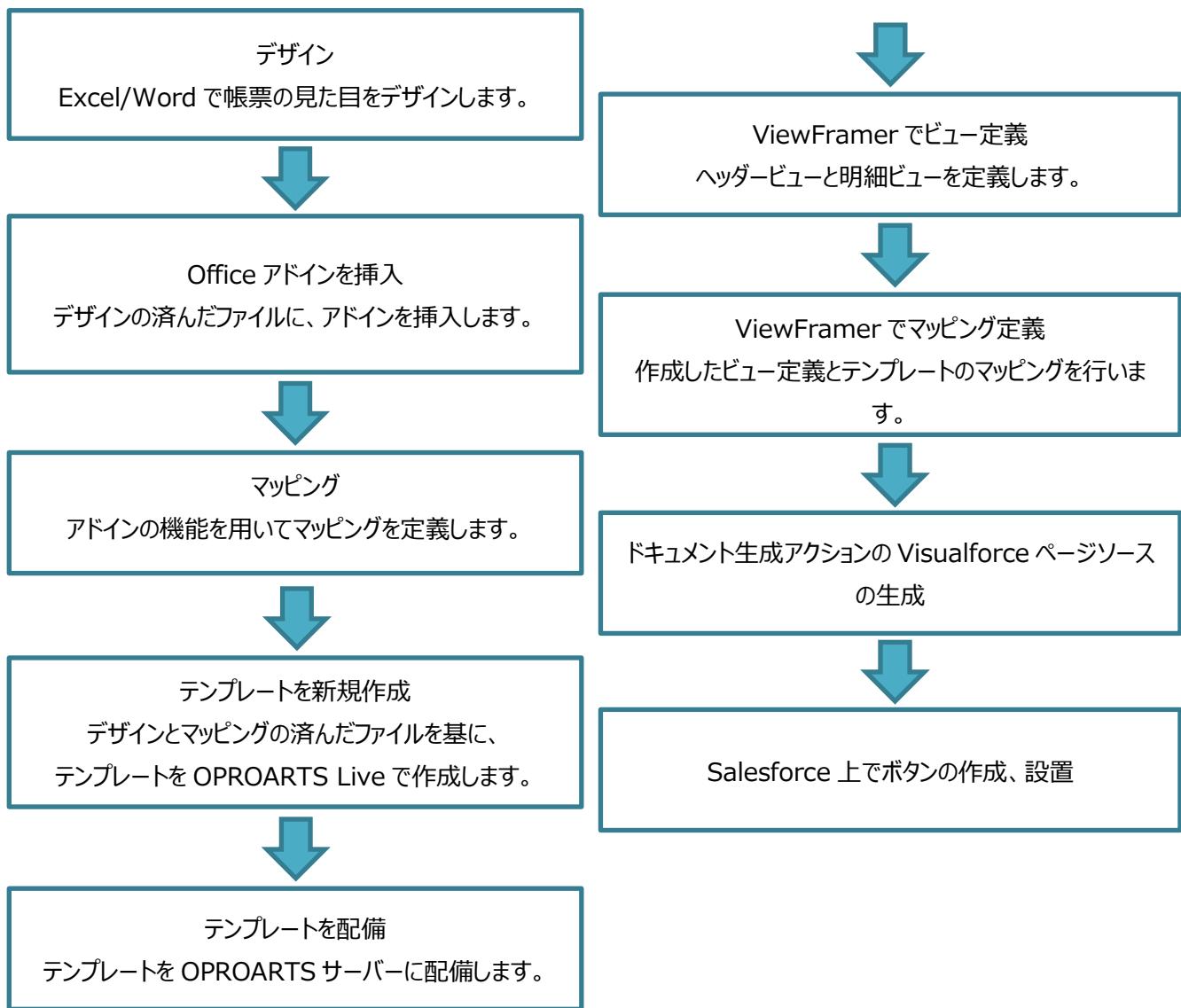
2. 全体の流れ

ViewFramer では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。
Excel/Word ともに同じ流れです。

2.1 テンプレートを白紙から作成する場合



2.2 既存のテンプレートファイルを流用する場合



3. テンプレートのデザイン

帳票テンプレートの作成手順を、Excel と Word のテンプレートを使って説明します。

3.1 Excel の場合

白紙の Excel ファイルから帳票をデザインする場合は、「3.1.1 テンプレート作成 | ブランク」を参照してください。

帳票がデザインされた既存の Excel ファイルを流用する場合は、「3.1.5 テンプレート作成 | アドイン入り Excel アップロード」を参照してください。

なお、本書の操作では「Google Chrome」を使用しています。

3.1.1 テンプレート作成 | ブランク

「OPROARTS Designer」にログインします。

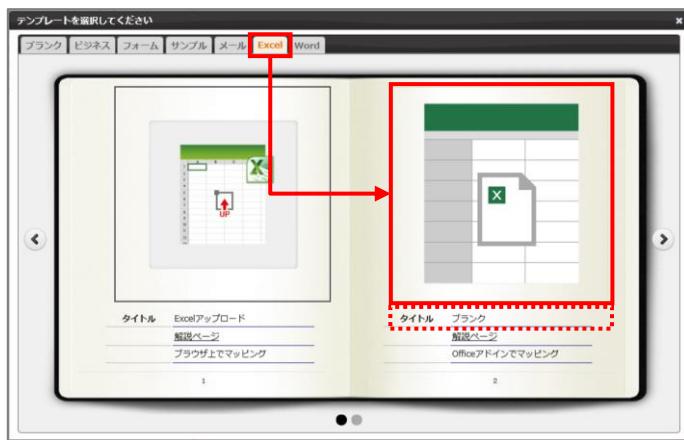
1. 「新規作成」ボタンをクリックします。



2. 「テンプレートを選択してください」画面が表示されます。

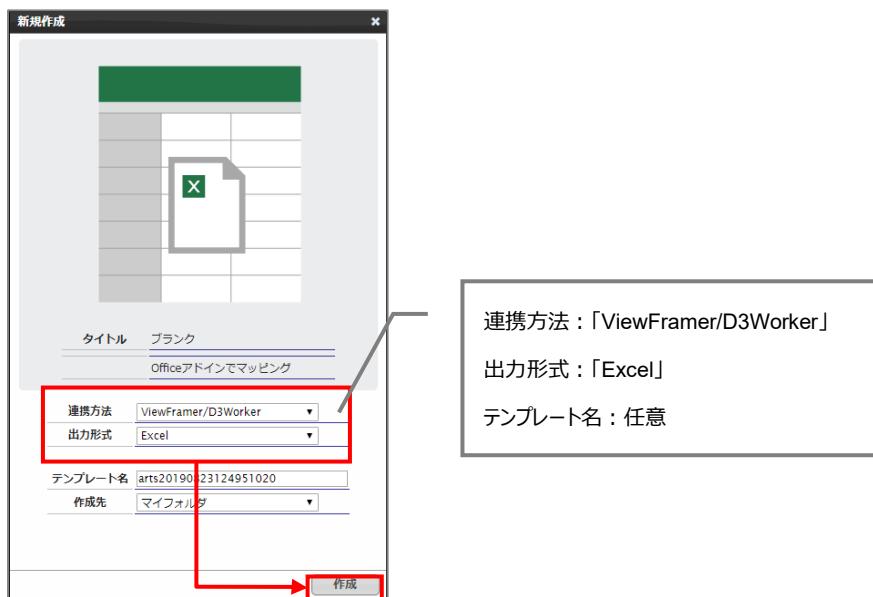


3. [Excel] タブをクリックし、タイトルが「ブランク」の画像をクリックします。



4. 「新規作成」画面が表示されます。

連携方法と出力形式を選択、テンプレート名を入力して、[作成] ボタンをクリックします。



注意

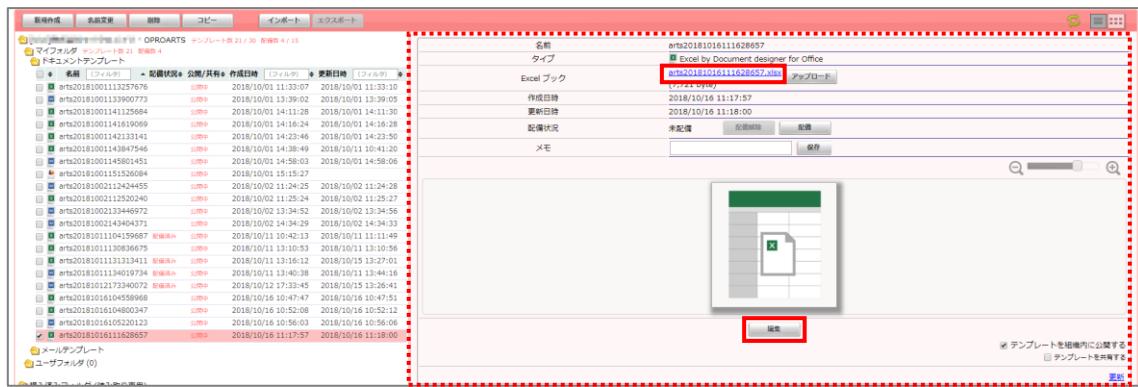
テンプレート名に使用できる文字種は次のとおりです。

- ・ 大文字小文字の英字
- ・ 数字
- ・ 記号「_」(アンダーバー)

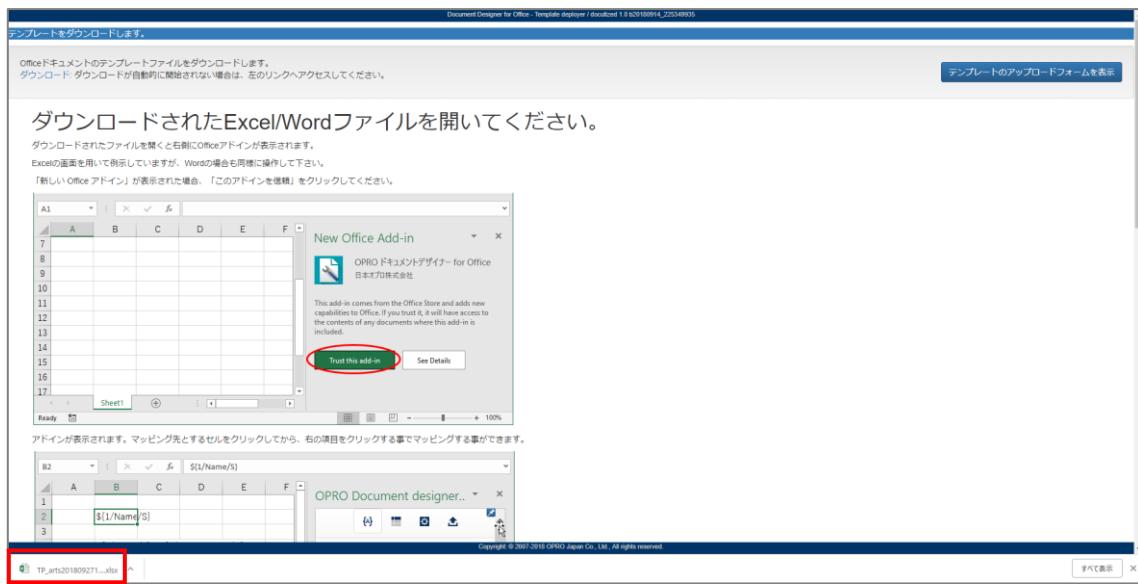
テンプレート名の一文字目は英字にする必要があります。英字以外を入力すると [作成] ボタンをクリックできません。

5. メイン画面の右側に新規作成した Excel のテンプレートが表示されます。

ファイル名のリンク、または、[編集] ボタンをクリックします。



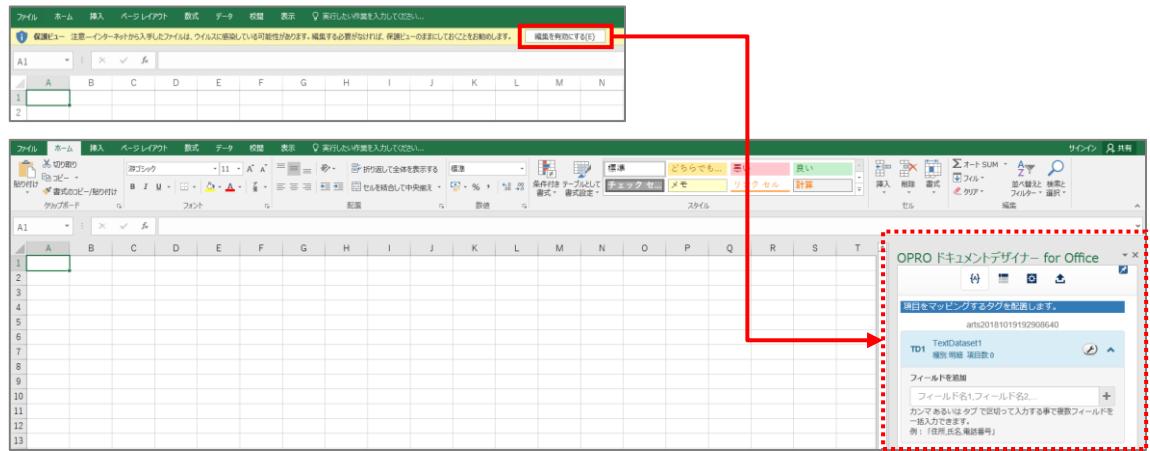
6. Chrome の場合、以下の画面が表示されます。下部に表示されたファイル名をクリックします。



7. Excel ファイルが開きます。

※ブラウザの種類や設定によってファイルを開くといったアクションは変わります。

保護ビューが表示された場合は、[編集を有効にする] ボタンをクリックします。右側に「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されます。



Point

「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されない場合は、[挿入] タブをクリックし、[OPRO] > [マッピング] をクリックしてください。

8. テンプレートファイルを新規に作成できました。

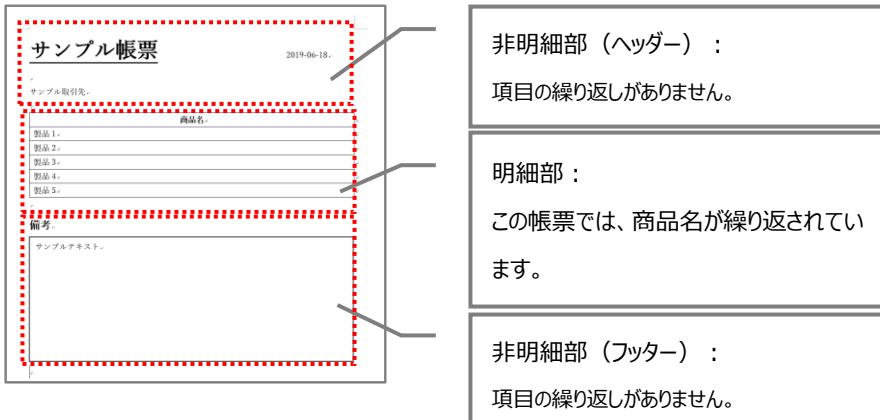
次に帳票をデザインします。「3.1.2 帳票デザイン」を参照してください。

3.1.2 帳票デザイン

Point

帳票には、非明細部と明細部があります。

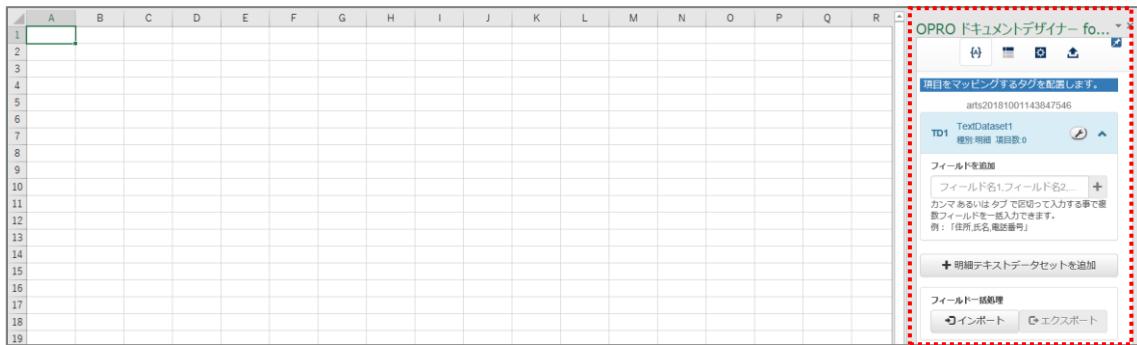
明細部は表形式になっており、同じ項目が繰り返し表示されています。



ここでは帳票デザインの例として、非明細部（ヘッダー、フッター）と明細部がある見積書を作成します。

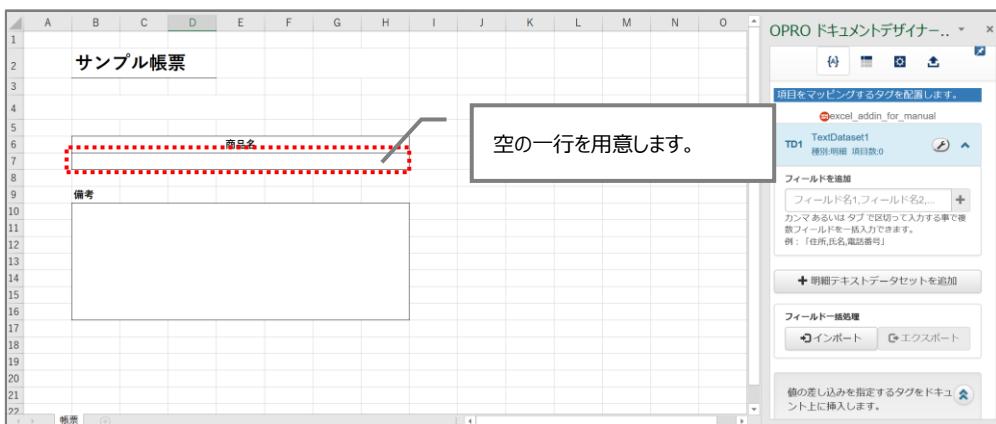
1. 「3.1.1 テンプレート作成 | ブランク」で作成したファイルを開きます。

画面右側に「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されていることを確認します。



2. 任意の帳票タイトルや項目を入力して、帳票をデザインします。

明細部はタイトル行の下に、空の一行を用意します。



3.1.3 マッピング

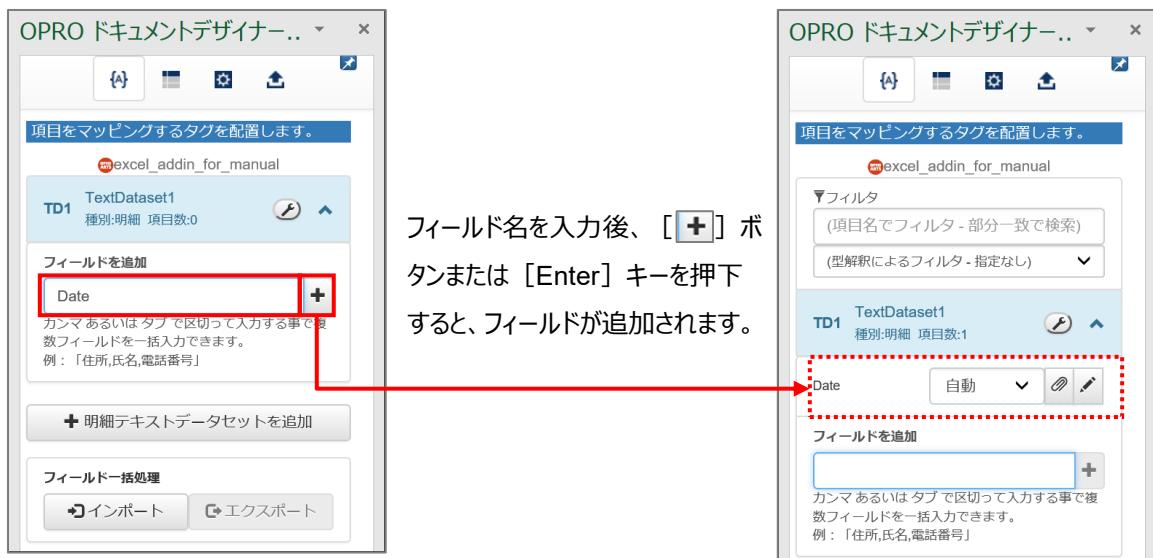
帳票デザインを作成した後は、フィールドを追加してマッピングします。

非明細部（ヘッダー）へのマッピングは、手順1～4を参照してください。

明細部と非明細部（フッター）へのマッピングは、手順 5 以降を参照してください。

- ## 1. 非明細部（ヘッダー）にマッピングします。

帳票デザインの項目にあわせたフィールドを追加します。(例: 発行日、見積番号、顧客名 など)
「フィールドを追加」の下にあるテキストボックスにフィールド名を入力し、[] ボタンをクリックします。



2. 追加したフィールドの型には「自動」が選択されています。型を手動で設定する場合は、[] ボタンをクリックして型を選択します。



Point

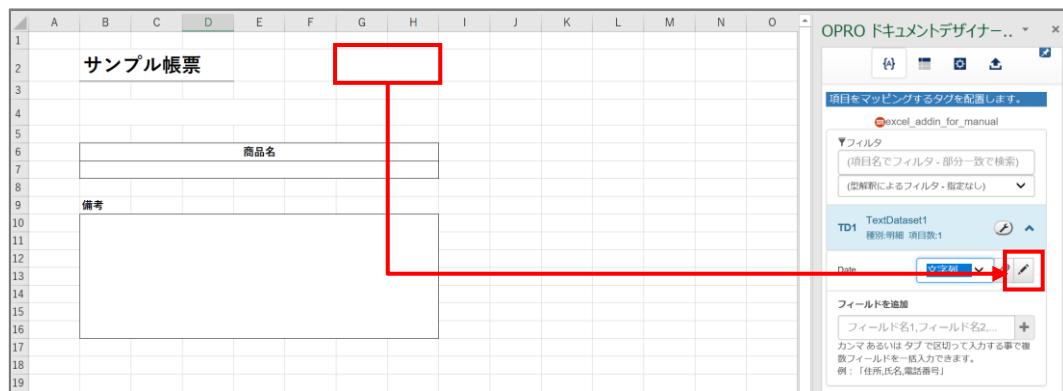
型が「自動」の場合は、Excel のセルの書式設定に従います。

実際の出力後、フォーマットを正しく出力できない場合は、型を手動で選択してください。

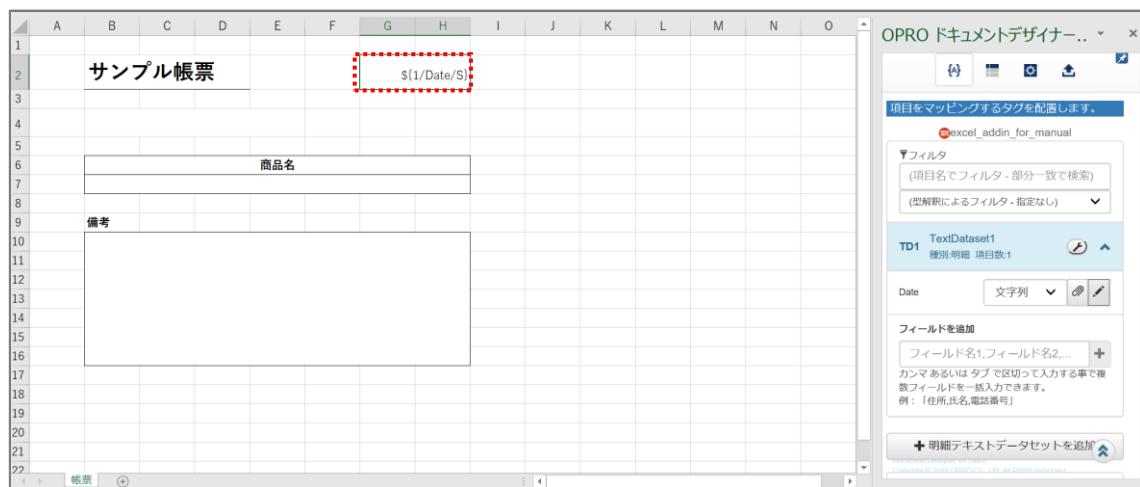
● 選択できる型

型名	内容
自動	OPROARTS が自動で型を判断します。セルの書式設定に従います。
文字列	氏名などの文字列を表記する場合に選択します。
数値	金額などの数値を表記する場合に選択します。
日付	作成日などの日付を表記する場合に選択します。
真偽値	true / false などの真偽値を表記する場合に選択します。
画像	画像を取り込むフィールドで選択します。

3. フィールドのタグを埋め込みたい箇所（セル）を選択し、フィールドの [] ボタンをクリックします。



4. タグが埋め込まれます。



Point

型が「数値」の場合は、タグを埋め込んだ直後に出力書式を選択できます。



Point

型が「日付」の場合は、タグを埋め込んだ直後に入力書式と出力書式を選択できます。



※「入力書式」では、一部記法の書式が使用できません。

使用できない書式を入力すると、警告文が表示され、使用可能な書式に補正されます。

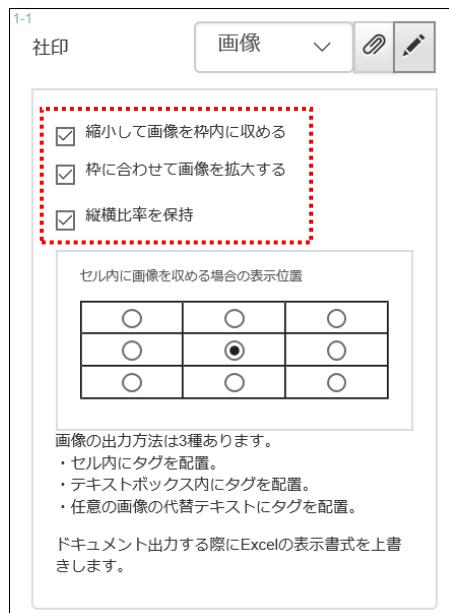
例：「yyyy-mm-dd hh:mm:ss」→「yyyy-MM-dd HH:mm:ss」



Point

型が「画像」の場合は、タグを埋め込む際に、以下の項目についてオン/オフを設定できます。

- ・「縮小して画像を枠内に収める」
- ・「枠に合わせて画像を拡大する」
- ・「縦横比率を保持」



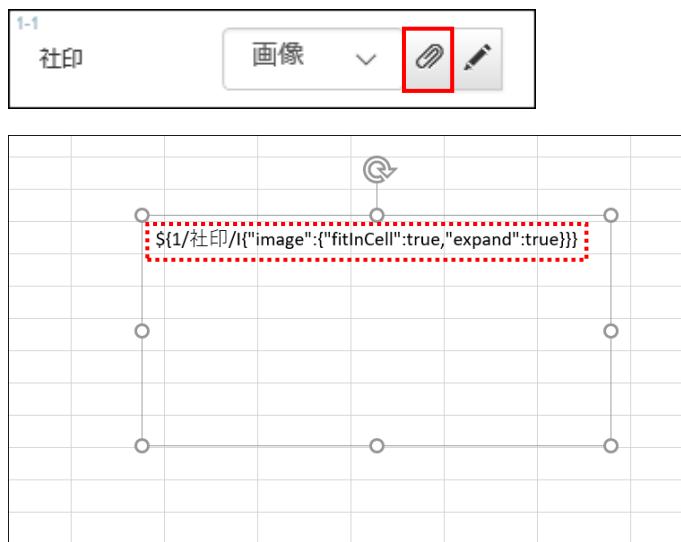
Point

テキストボックスの本文内や、画像の代替テキストにタグを埋め込むことが可能です。

以下の違いがあります。

- ・テキストボックスでは、タグが書かれている事を一目で把握できる
- ・画像では、画像に指定された回転等のエフェクトを引き継ぐ事ができる

埋め込む際には、対象の項目設定のクリップボタンを押してタグをコピーし、貼り付けてください。



画像の代替テキストに画像のタグを指定する方法については以下のページをご確認ください。

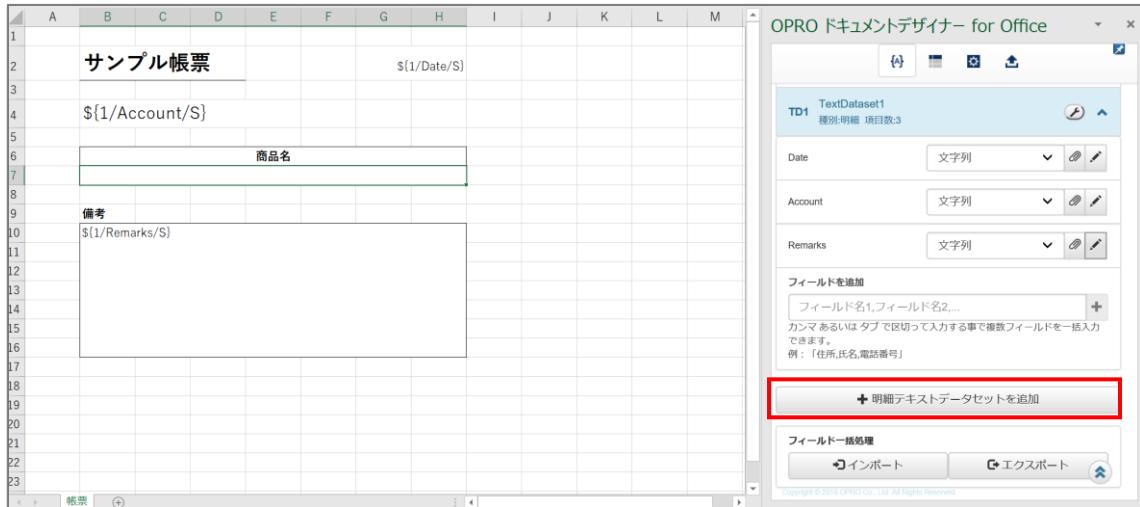
<https://spc.opro.net/hc/ja/articles/900003281966>

5. 続いて明細部にマッピングします。

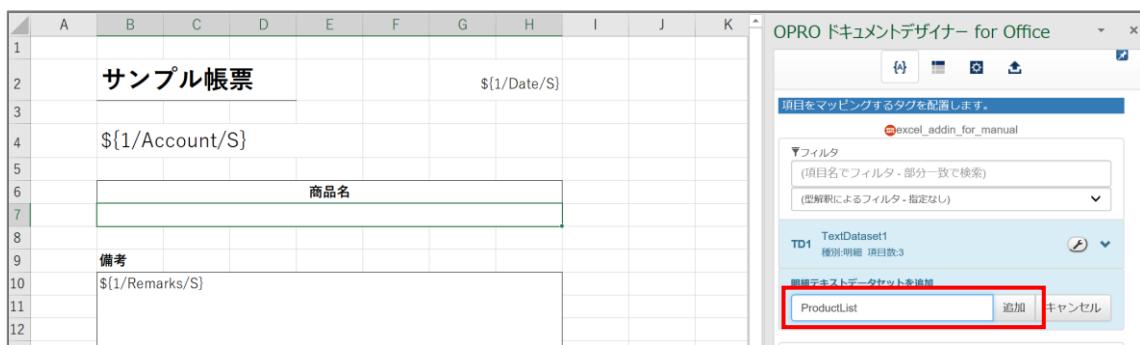
「+ 明細テキストデータセットを追加」ボタンをクリックします。

Point

「テキストデータセット」とは、OPROARTS が受け取る CSV データの定義です。



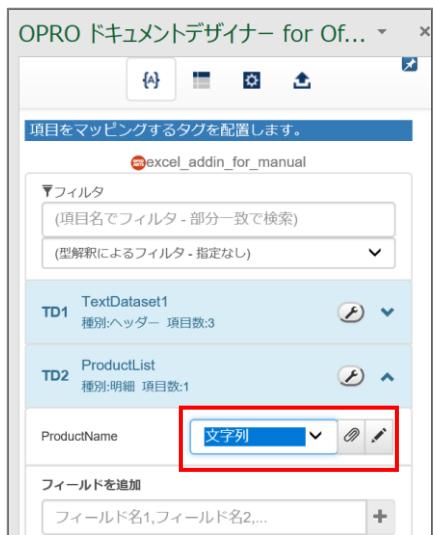
6. 明細テキストデータセット名を入力し、[追加] ボタンをクリックします。



7. 「種別：明細」のテキストデータセットが追加されます。



8. 明細部にフィールドを追加します。手順 1、2 と同様に、フィールド名を入力し、型を選択します。



9. 明細部にタグを埋め込みます。

フィールドのタグを埋め込みたい箇所（セル）を選択し、フィールドの [] ボタンをクリックします。

10. 明細部にタグが埋め込まれます。

11. 続けて明細部が繰り返して出力されるように設定するため、[...]ボタンをクリックします。繰り返し設定を行う画面が表示されます。



12. 繰り返す行で、何も設定されていないセルを選択します。【繰返し】ボタンをクリックします。

13. タグが埋め込まれます。

14. 上書き保存をして、ファイルを閉じます。

Point

フィールドの並び替えやフィールド名の変更、フィールドの削除については、「4.1.4 フィールドを並び替え／リネーム／削除する」を参照してください。

3.1.4 ファイルのアップロード

マッピングが完了したテンプレートをアップロードします。

「OPROARTS Designer」にログインします。

Point

アップロード前に、次の手順でドキュメント検査をして、ドキュメントのプロパティと個人情報を削除することを推奨します。

削除しない場合、テンプレートの作成者に個人情報が残ったままとなります。

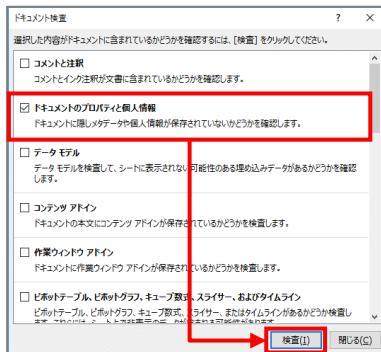
1. [ファイル] タブ> [情報] の順にクリックします。



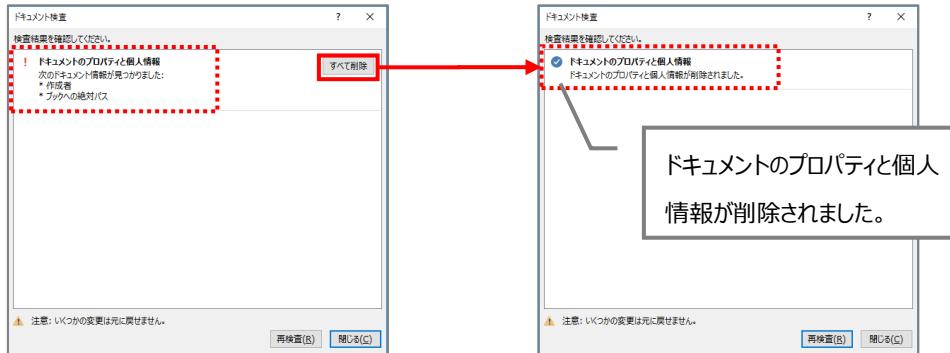
2. [問題のチェック] > [ドキュメント検査] を順にクリックします。



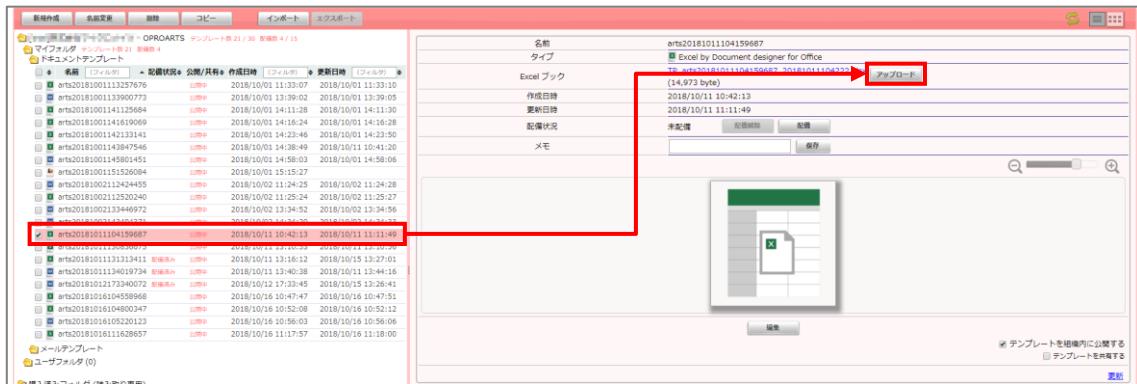
3. 「ドキュメントのプロパティと個人情報」を選択し、[検査] ボタンをクリックします。



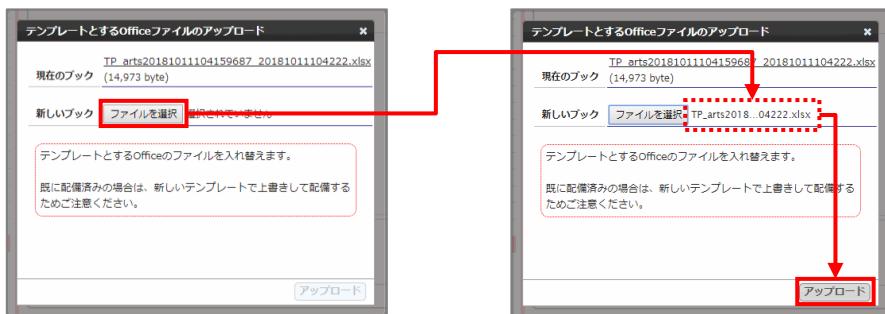
4. ドキュメント情報がある場合は、[すべて削除] ボタンをクリックします。



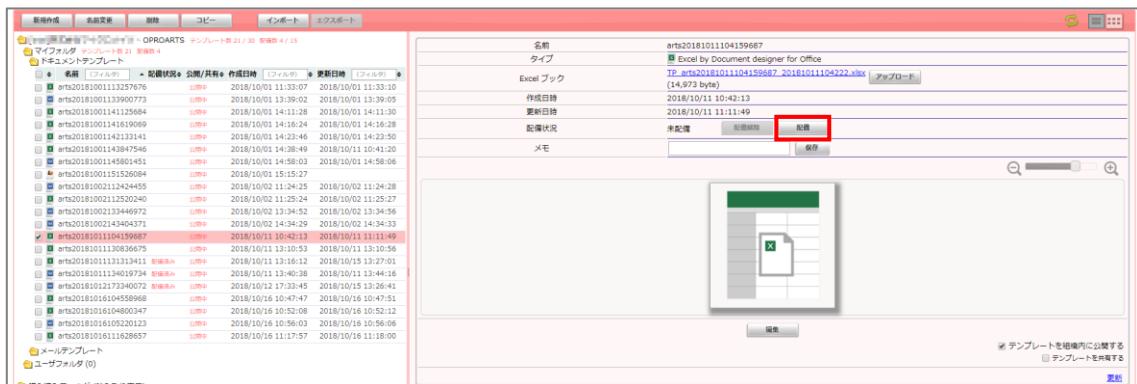
1. 「OPROARTS Designer」でマッピング済みのファイルをアップロードする対象を選択し、[アップロード] ボタンをクリックします。



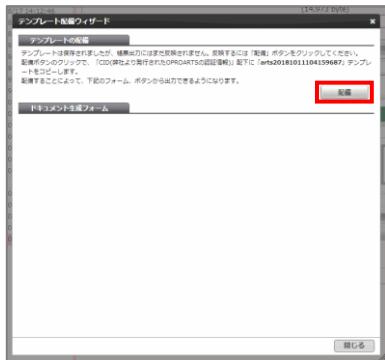
2. 「テンプレートとするOfficeファイルのアップロード」画面が表示されます。
[ファイルを選択] ボタンをクリックし、マッピング済みのファイルを選択後、[アップロード] ボタンをクリックします。



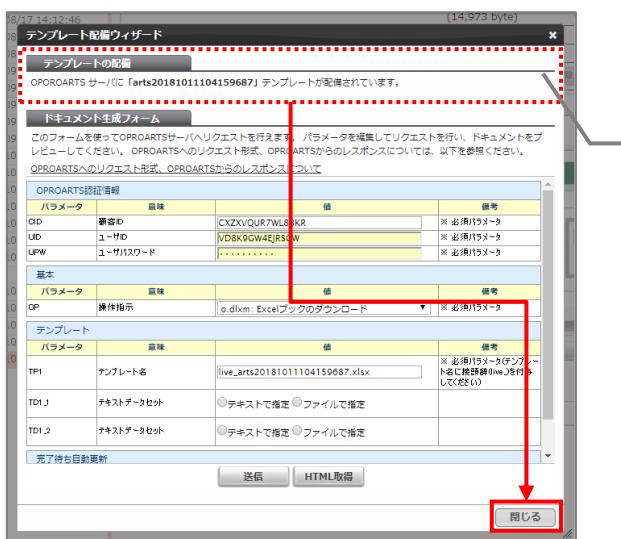
3. [配備] ボタンをクリックします。



4. 「テンプレート配備ウィザード」画面が表示されます。
[配備] ボタンをクリックします。

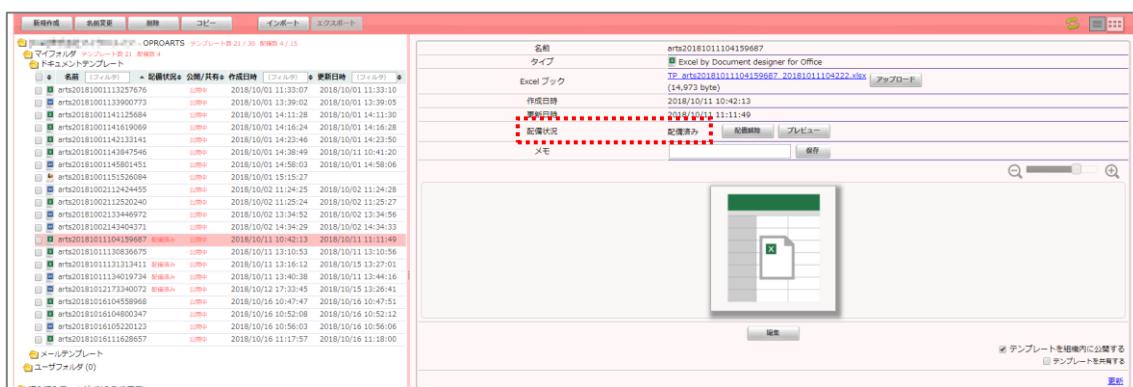


5. テンプレートが配備されたことを確認し、[閉じる] ボタンをクリックします。



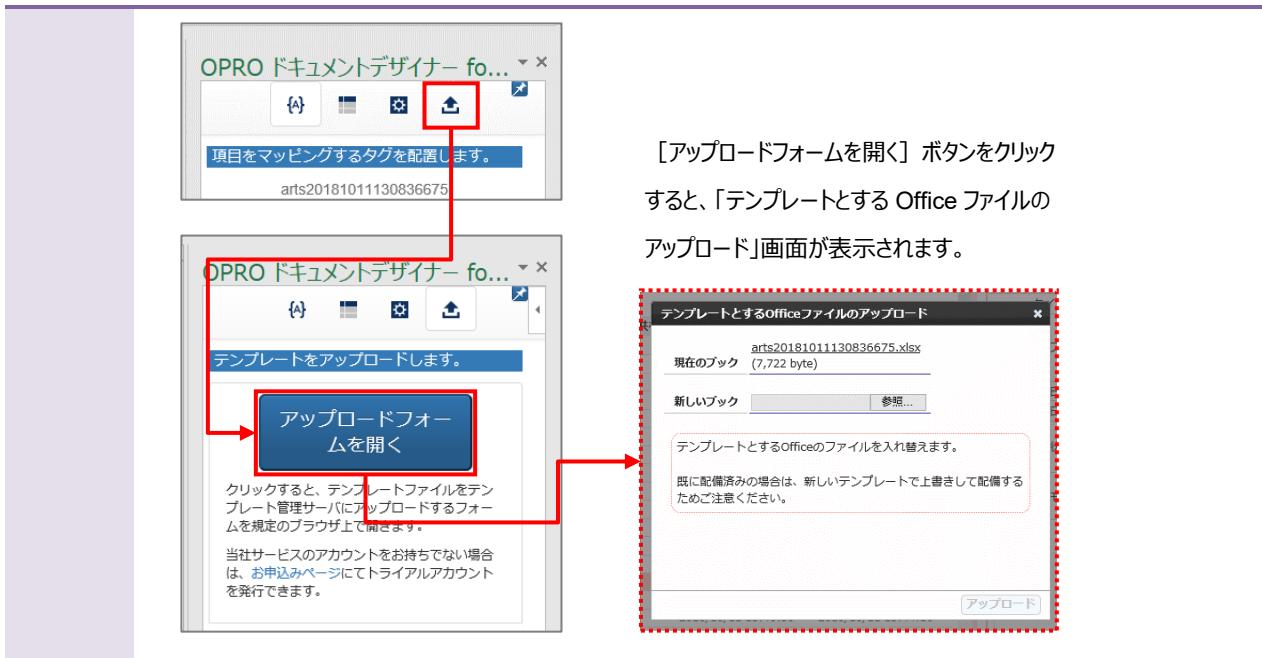
OPROARTS サーバにテンプレートが配備されたことを、メッセージから確認します。

6. 配備状況が「配備済み」になっていることを確認します。
これでファイルのアップロードが完了しました。



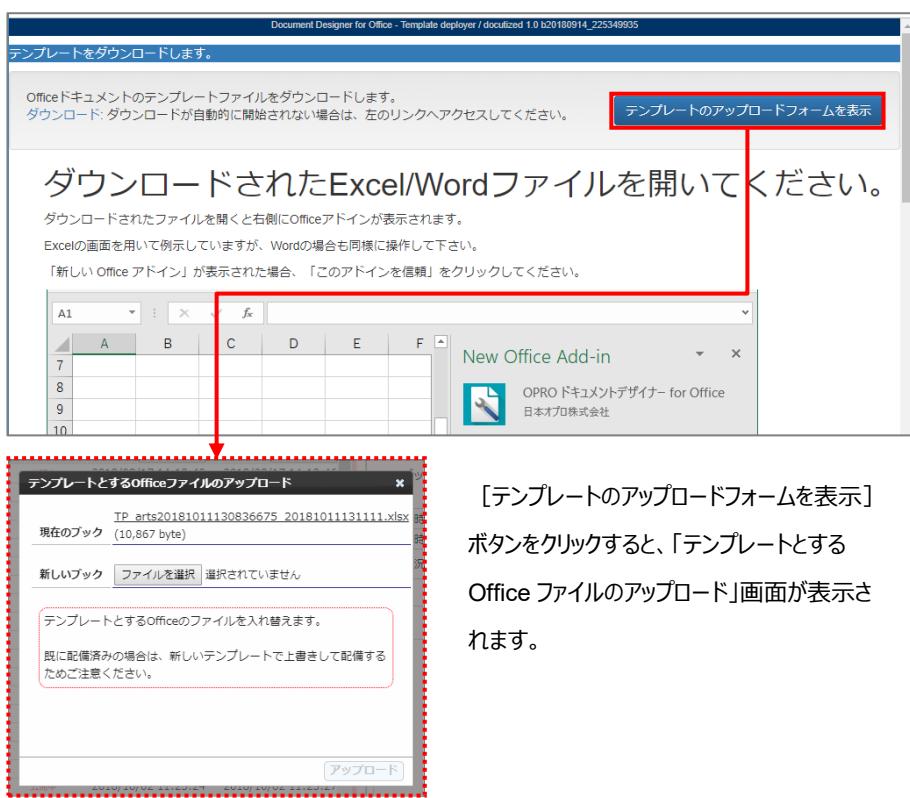
Point

[] ボタンをクリックして、[アップロードフォームを開く] ボタンをクリックしてアップロードすることもできます。



Point

テンプレートをダウンロードする際に、ブラウザに表示された「テンプレートのアップロードフォームを表示」ボタンをクリックしてアップロードすることもできます。



3.1.5 テンプレート作成 | アドイン入り Excel アップロード

アドイン入りの Excel ファイルをアップロードする前に、Office アドインを追加する必要があります。

次の Point を参考に、Office アドインを追加してください。

Point

ここでは Excel 2016 を使用して Office アドインを追加する手順を説明します。

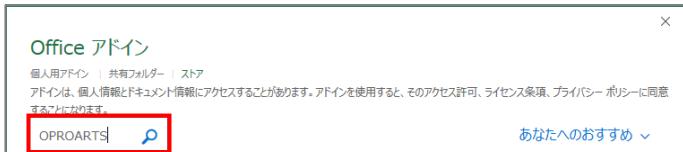
1. Excel ファイルを開きます。
2. 【挿入】タブ > 【マイアドイン】をクリックします。※バージョンによっては【個人用アドイン】をクリック



3. 「Office アドイン」のポップアップ画面が表示されます。【Office ストア】ボタンをクリックします。



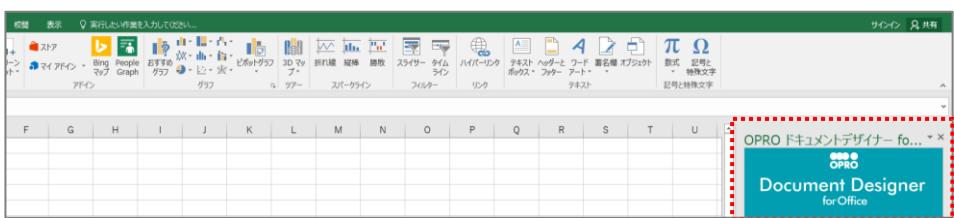
4. 検索用テキストボックスに「OPROARTS」と入力して、【】ボタンをクリックします。



5. 「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されます。【追加】ボタンをクリックします。



6. Office アドインの「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が画面右側に追加されます。



他の Office のバージョンでは追加方法が異なりますので、追加方法の詳細は Microsoft のヘルプを参照してください。

参考サイト (2018 年 10 月現在)

<https://support.office.com/ja-jp/article/office-%E3%82%A2%E3%83%89%E3%82%A4%E3%83%83%E3%82%92%E8%A6%8B%E3%81%A4%E3%81%91%E3%82%8B-b022dc72-8ffc-4bfc-b1ff-c3f9a2182964>

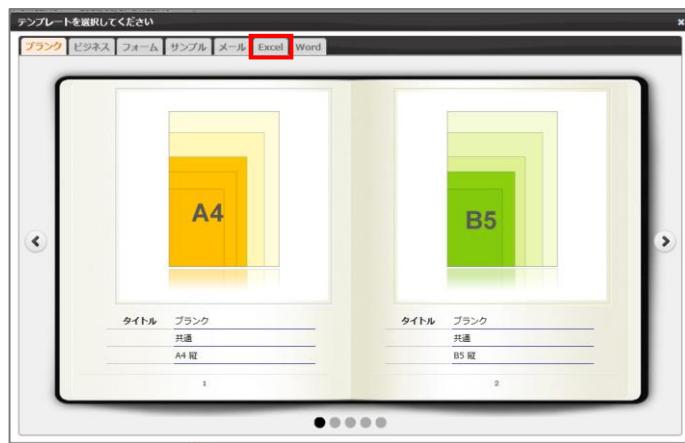
「OPROARTS Designer」にログインします。

アドイン入りの Excel ブックをアップロードする手順は次のとおりです。

1. [新規作成] ボタンをクリックします。



2. 「テンプレートを選択してください」画面が表示されます。
[Excel] タブをクリックします。



3. [>] ボタンをクリックします。



4. タイトルが「アドイン入り Excel アップロード」の画像をクリックします。



5. 「新規作成」画面が表示されます。

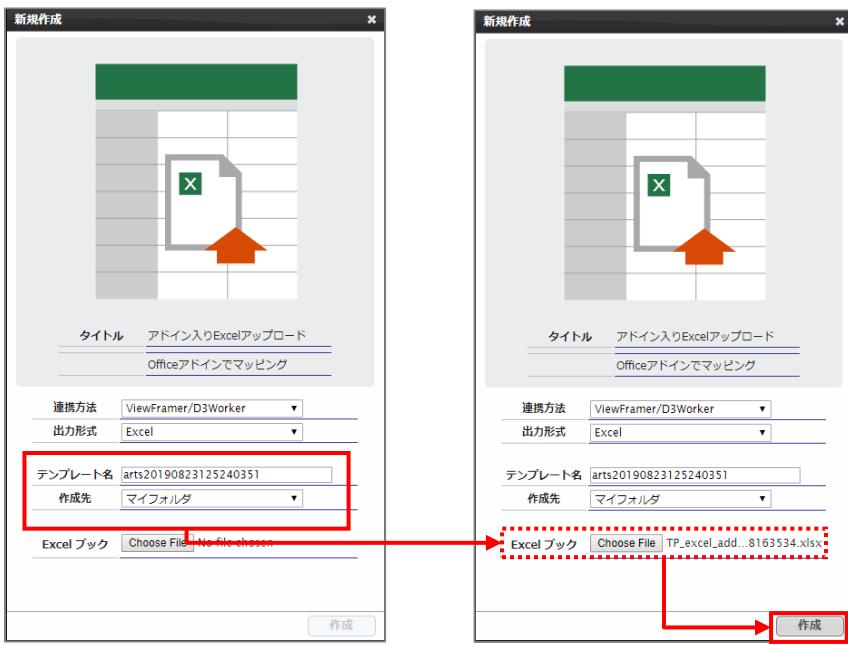
任意のテンプレート名を入力します。

【ファイルを選択】ボタンをクリックして、テンプレートとしてアップロードする Excel ブックを選択します。
続けて、【作成】ボタンをクリックします。

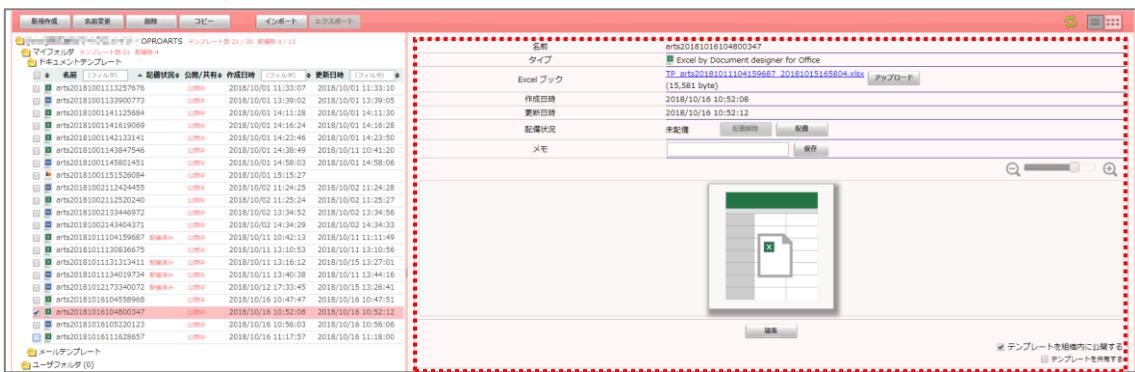
注意

Excel 上に Office アドインが展開されている状態で保存した Excel ブックを選択してください。

Office アドインが展開されていない Excel ブックを選択すると、アップロード時にエラーとなります。



6. メイン画面の右側に、アップロードした Excel のテンプレートが表示されます。



3.2 Word の場合

白紙のWordファイルから帳票をデザインする場合は、「3.2.1 テンプレート作成 | ブランク」を参照してください。

帳票がデザインされた既存のWordファイルを流用する場合は、「3.2.5 テンプレート作成 | アドイン入りWordアップロード」を参照してください。

なお、本書の操作では「Google Chrome」を使用しています。

3.2.1 テンプレート作成 | ブランク

「OPROARTS Designer」にログインします。

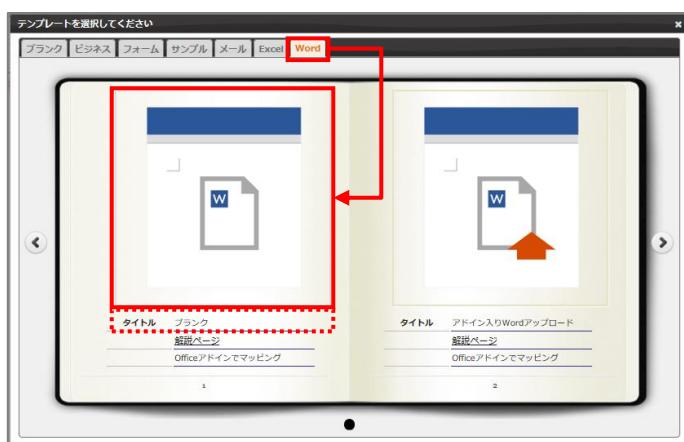
1. 「新規作成」ボタンをクリックします。



2. 「テンプレートを選択してください」画面が表示されます。

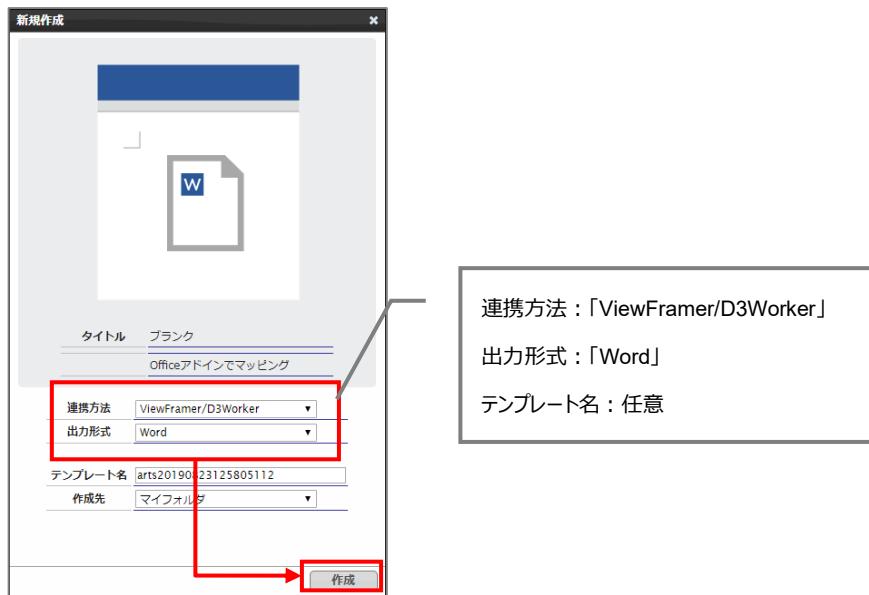


3. [Word] タブをクリックし、タイトルが「ブランク」の画像をクリックします。



4. 「新規作成」画面が表示されます。

連携方法と出力形式を選択、テンプレート名を入力して、[作成] ボタンをクリックします。



注意

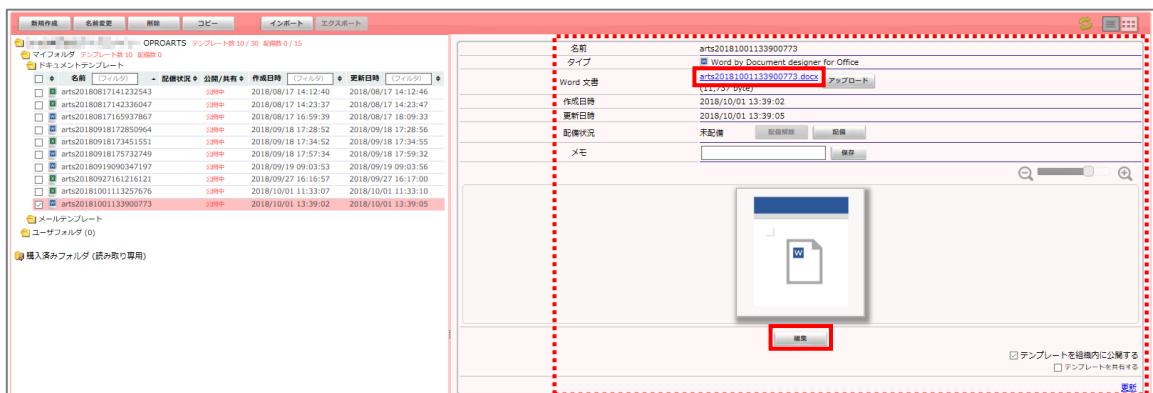
テンプレート名に使用できる文字種は次のとおりです。

- ・ 大文字小文字の英字
- ・ 数字
- ・ 記号「_」（アンダーバー）

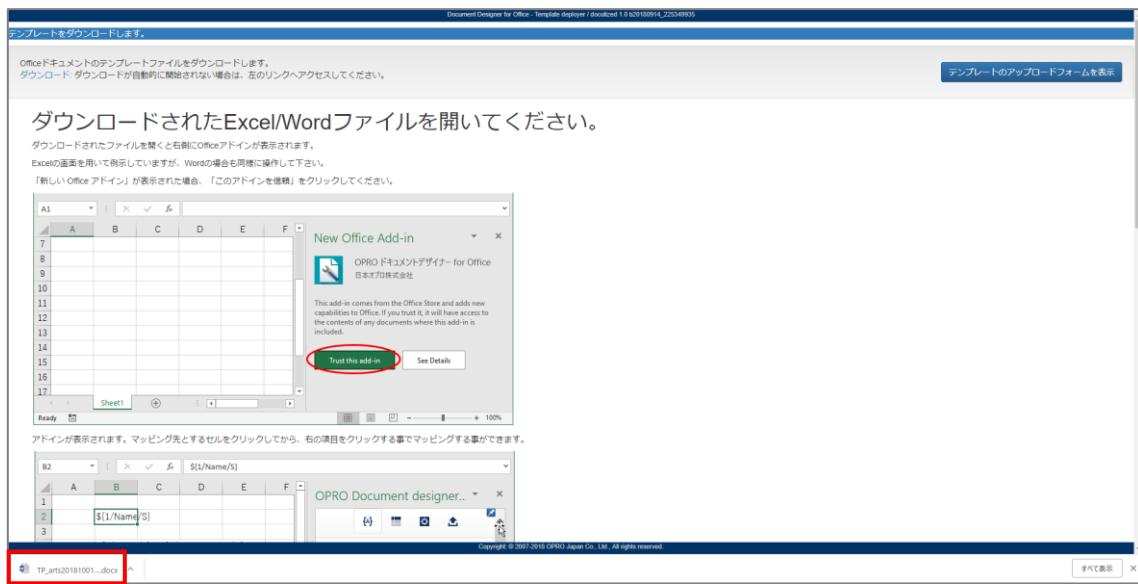
テンプレート名の一文字目は英字にする必要があります。英字以外を入力すると [作成] ボタンをクリックできません。

5. メイン画面の右側に新規作成した Word のテンプレートが表示されます。

ファイル名のリンクをクリックします。



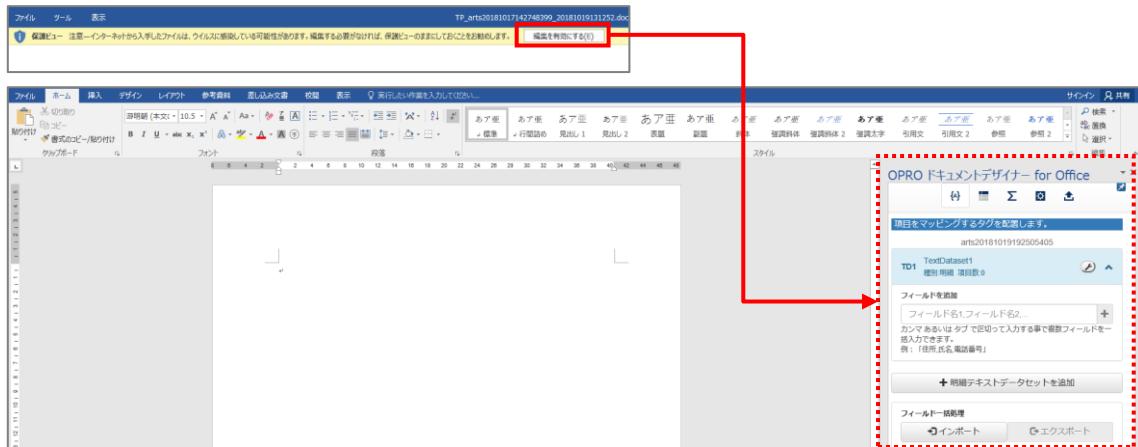
6. Chrome の場合、以下の画面が表示されます。下部に表示されたファイル名をクリックします。



7. Word ファイルが開きます。

※ブラウザの種類や設定によってファイルを開くといったアクションは変わります。

保護ビューが表示された場合は、「編集を有効にする」ボタンをクリックします。右側に「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されます。



Point 「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されない場合は、[挿入] タブをクリックし、[OPRO] > [マッピング] をクリックしてください。

8. テンプレートファイルを新規に作成できました。

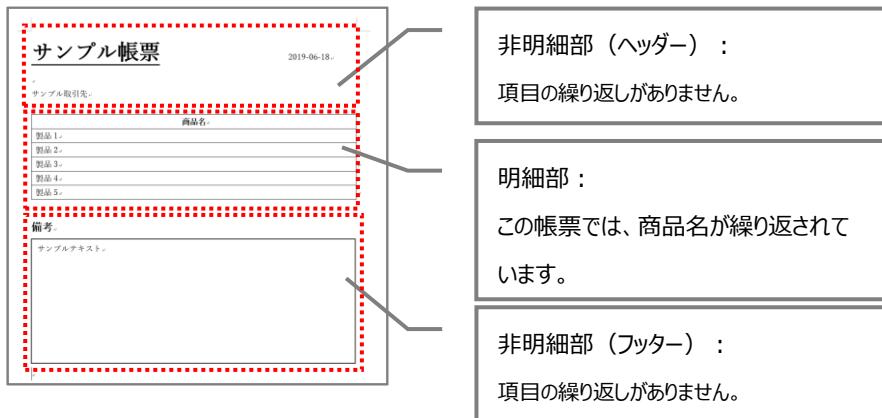
次に帳票をデザインします。「3.2.2 帳票デザイン」を参照してください。

3.2.2 帳票デザイン

Point

帳票には、非明細部と明細部があります。

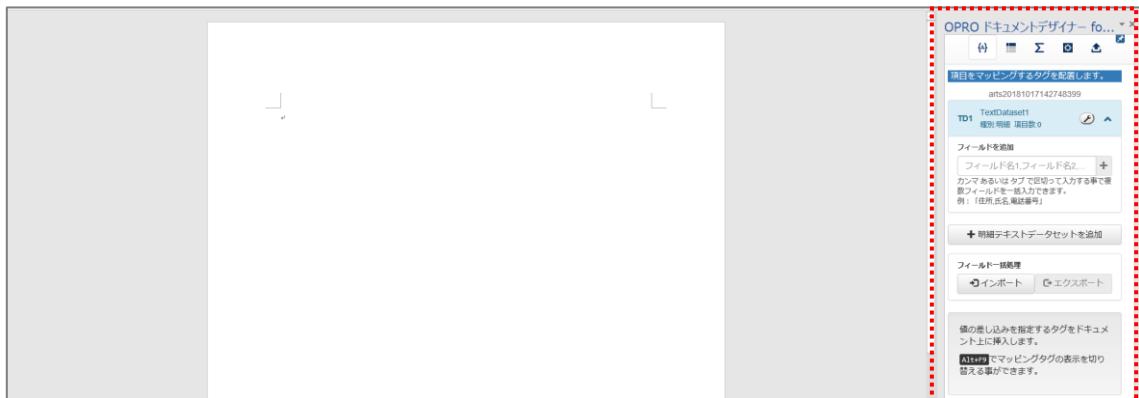
明細部は表形式になっており、同じ項目が繰り返し表示されています。



ここでは帳票デザインの例として、非明細部（ヘッダー、フッター）と明細部がある見積書を作成します。

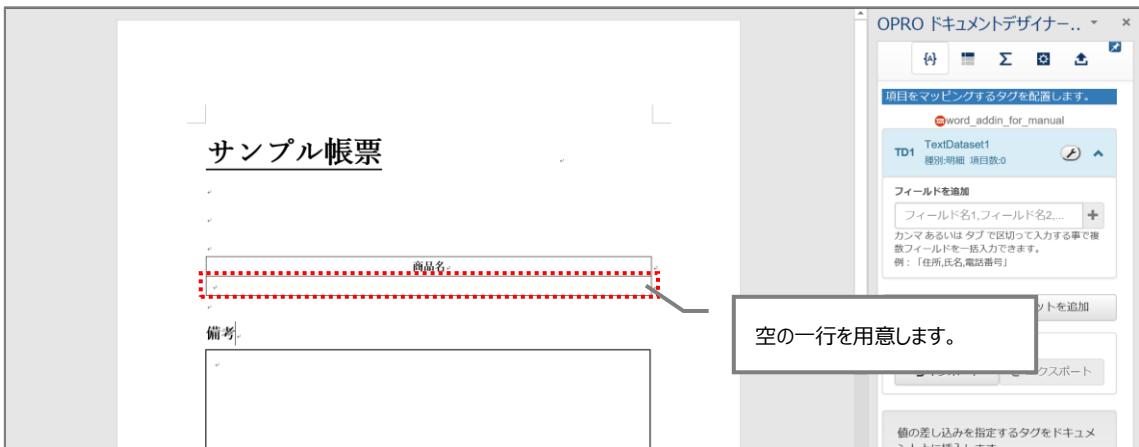
1. 「3.2.1 テンプレート作成 | ブランク」で作成したファイルを開きます。

画面右側に「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されていることを確認します。



2. 任意の帳票タイトルや項目を入力して帳票をデザインします。

明細部はタイトル行の下に、空の一行を用意します。



3.2.3 マッピング

帳票デザインを作成した後は、フィールドを追加してマッピングします。

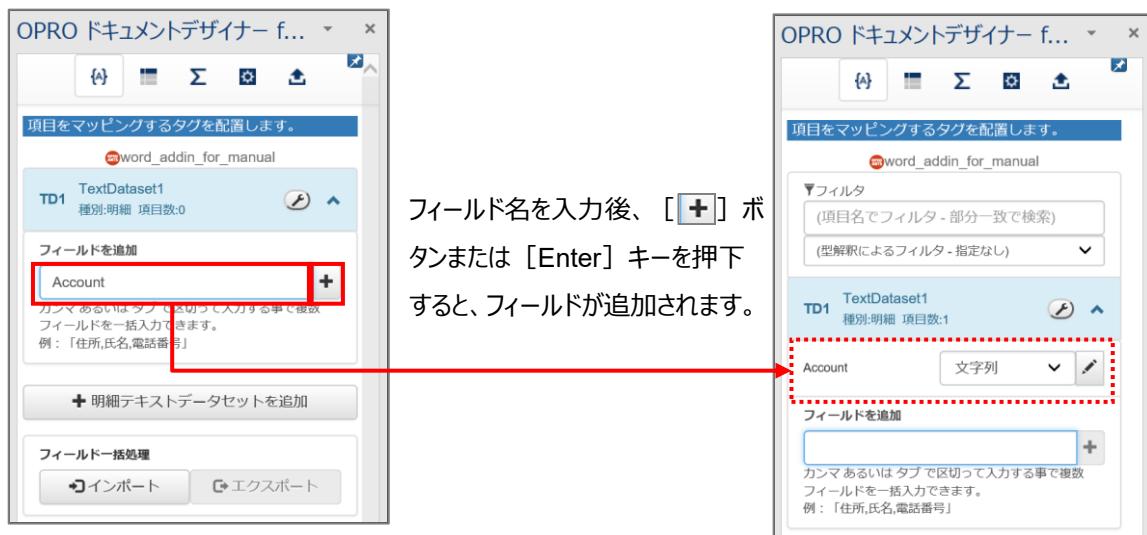
非明細部（ヘッダー）へのマッピングは、手順1～4を参照してください。

明細部と非明細部（フッター）へのマッピングは、手順 5 以降を参照してください。

- ## 1. 非明細部（ヘッダー）にマッピングします。

帳票デザインの項目にあわせたフィールドを追加します。（会社名、作成日、担当者名など）

「フィールドを追加」の下にあるテキストボックスにフィールド名を入力し、 [+] ボタンをクリックします。



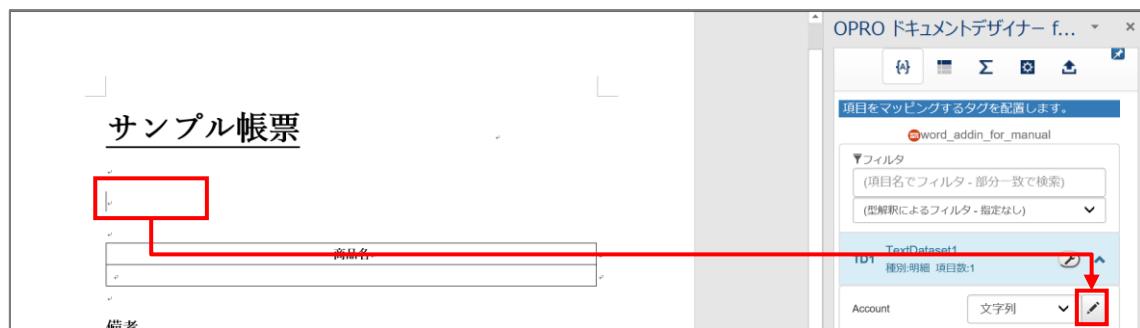
2. 追加したフィールドの [] ボタンをクリックし、型を選択します。



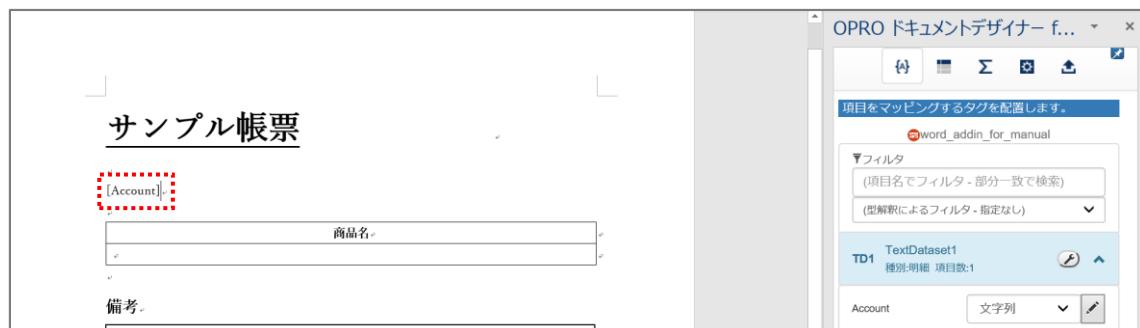
● 選択できる型

型名	内容
文字列	氏名などの文字列を表記するフィールドで選択します。
数値	金額などの数値を表記するフィールドで選択します。
日付	作成日などの日付を表記するフィールドで選択します。
画像	画像を取り込むフィールドで選択します。

3. フィールドのタグを埋め込みたい箇所を選択し、フィールドの [] ボタンをクリックします。



4. タグが埋め込まれます。



Point

型が「数値」の場合は、タグを埋め込んだ直後に出力書式を選択できます。



Point

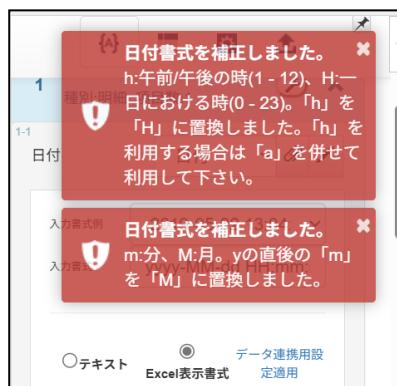
型が「日付」の場合は、タグを埋め込んだ直後に入力書式と出力書式を選択できます。



※「入力書式」では、一部記法の書式が使用できません。

使用できない書式を入力すると、警告文が表示され、使用可能な書式に補正されます。

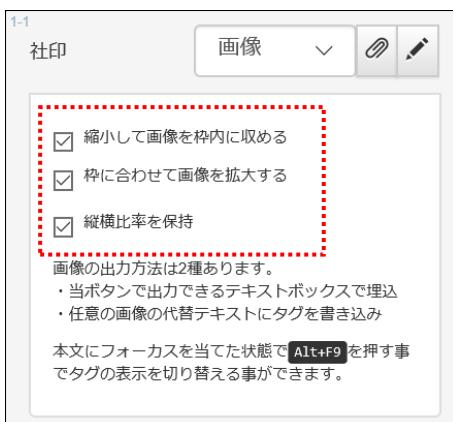
例：「yyyy-mm-dd hh:mm:ss」→「yyyy-MM-dd HH:mm:ss」



Point

型が「画像」の場合は、タグを埋め込む際に、以下の項目についてオン/オフを設定できます。

- ・「縮小して画像を枠内に収める」
- ・「枠に合わせて画像を拡大する」
- ・「縦横比率を保持」



Point

テキストボックスの本文内や、画像の代替テキストにタグを埋め込むことが可能です。

以下の違いがあります。

- ・テキストボックスでは、タグが書かれている事を一目で把握できる
- ・画像では、画像に指定された回転等のエフェクトを引き継ぐ事ができる

埋め込む際には、対象の項目設定のクリップボタンを押してタグをコピーし、貼り付けてください。

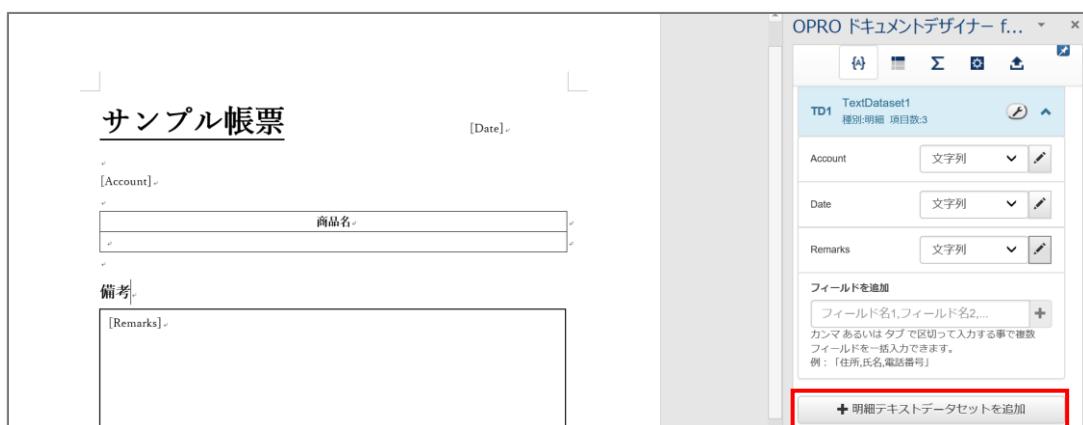


画像の代替テキストに画像のタグを指定する方法については以下のページをご確認ください。

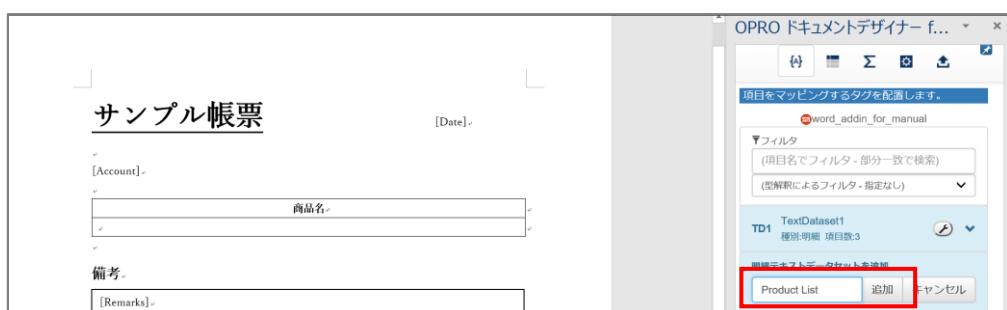
<https://spc.opro.net/hc/ja/articles/900003281966>

5. 続いて明細部にマッピングします。

「+ 明細テキストデータセットを追加」ボタンをクリックします。



6. 明細テキストデータセット名を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

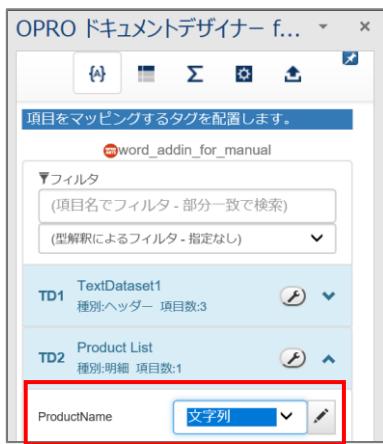


7. 「種別：明細」のテキストデータセットが追加されます。



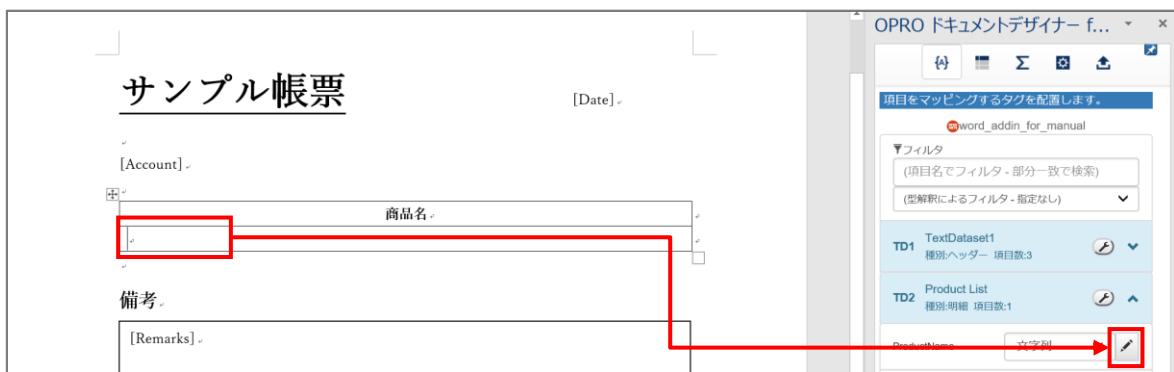
8. 明細部にフィールドを追加します。

手順 1、2 と同様に、フィールド名を入力し、型を選択します。

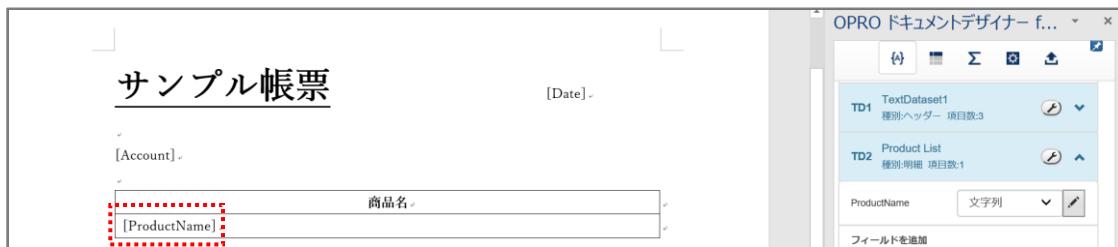


9. 明細部にタグを埋め込みます。

フィールドのタグを埋め込みたい箇所を選択し、フィールドの [] ボタンをクリックします。



10. 明細部にタグが埋め込まれます。



11. 上書き保存をして、ファイルを閉じます。

Point

フィールドの並び替えやフィールド名の変更、フィールドの削除については、「4.1.4 フィールドを並び替え／リネーム／削除する」を参照してください。

3.2.4 ファイルのアップロード

マッピングが完了したファイルをアップロードします。

「OPROARTS Designer」にログインします。

Point

アップロード前に、次の手順でドキュメント検査をして、ドキュメントのプロパティと個人情報を削除することを推奨します。

削除しない場合、テンプレートの作成者に個人情報が残ったままとなります。

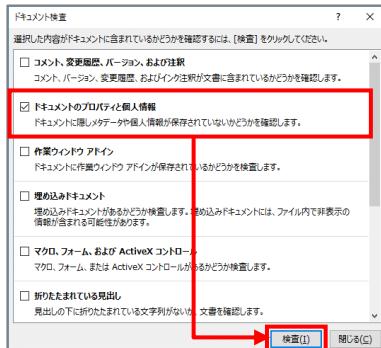
1. [ファイル] タブ> [情報] の順にクリックします。



2. [問題のチェック] > [ドキュメント検査] を順にクリックします。



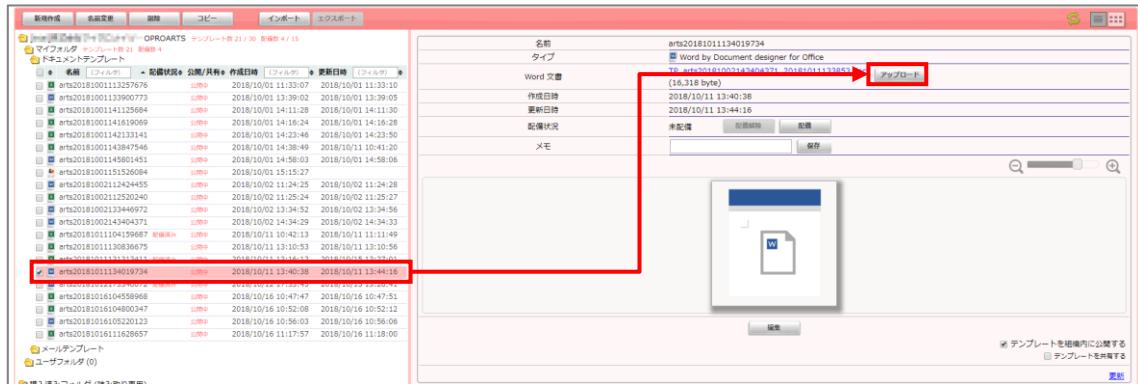
3. 「ドキュメントのプロパティと個人情報」を選択し、[検査] ボタンをクリックします。



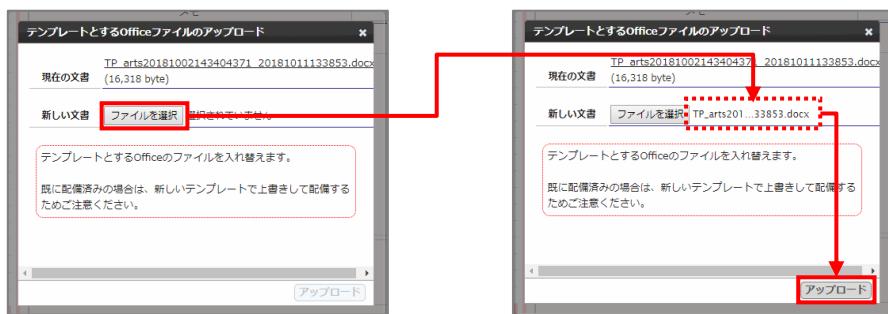
4. ドキュメント情報がある場合は、[すべて削除] ボタンをクリックします。



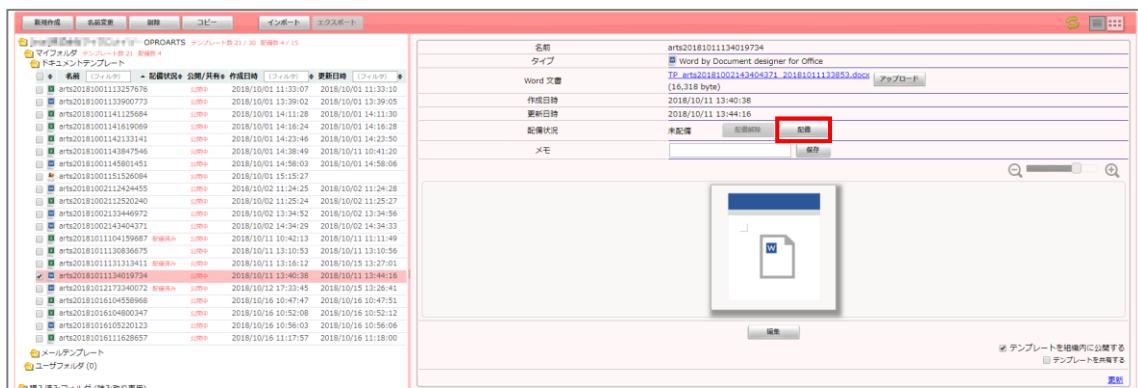
1. 「OPROARTS Designer」でマッピング済みのファイルをアップロードする対象を選択し、[アップロード] ボタンをクリックします。



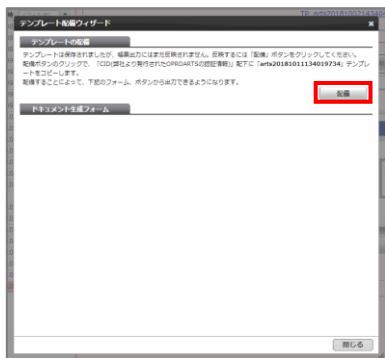
2. 「テンプレートとする Office ファイルのアップロード」画面が表示されます。
[ファイルを選択] ボタンをクリックし、マッピング済みのファイルを選択後、[アップロード] ボタンをクリックします。



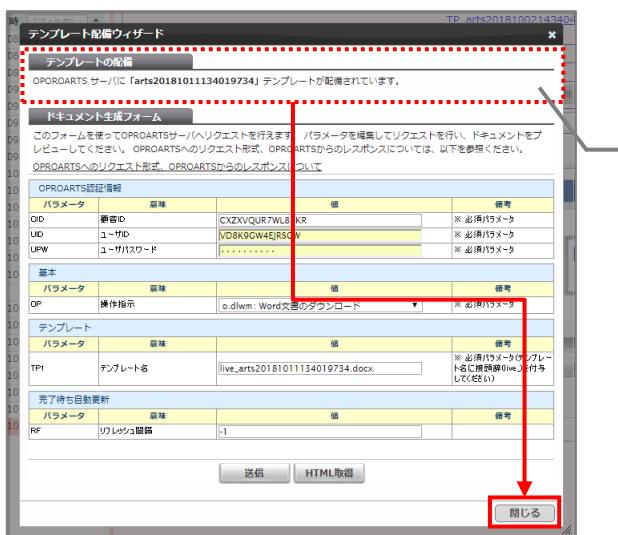
3. [配備] ボタンをクリックします。



4. 「テンプレート配備ウィザード」画面が表示されます。
[配備] ボタンをクリックします。

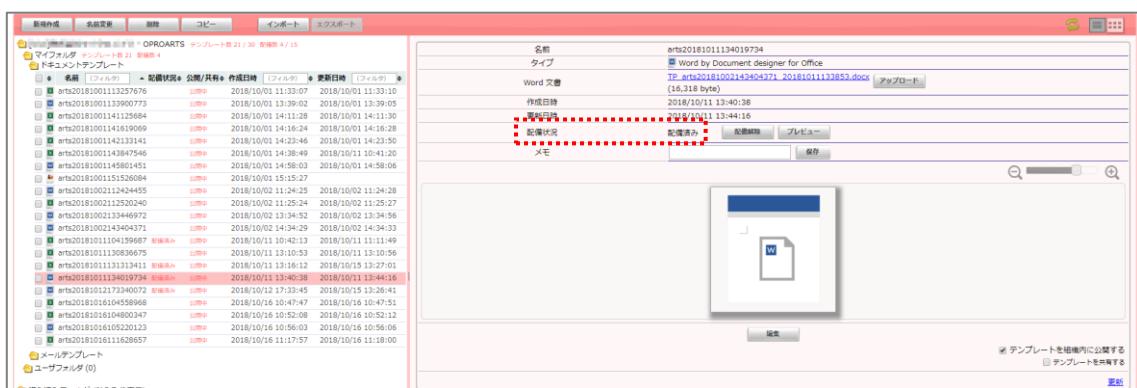


5. テンプレートが配備されたことを確認し、[閉じる] ボタンをクリックします。



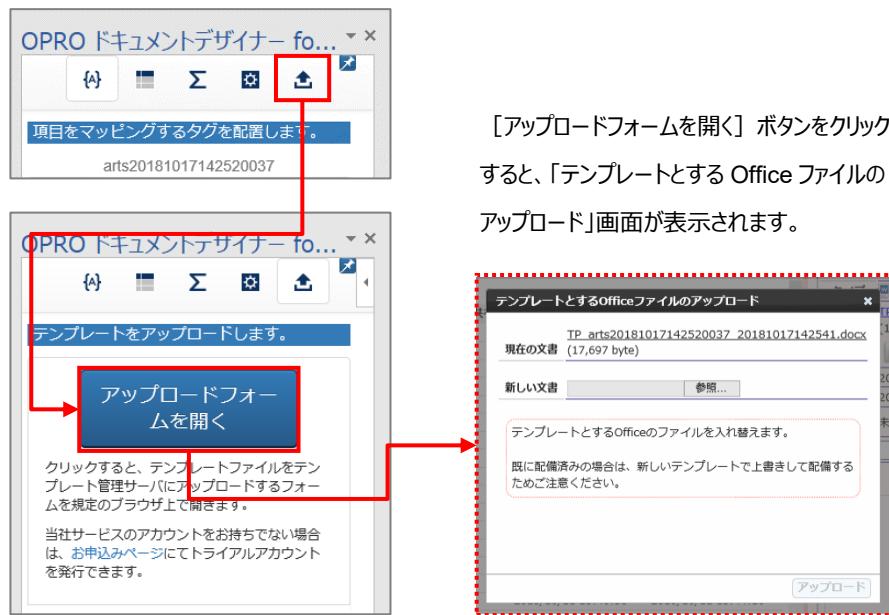
OPROARTS サーバにテンプレートが配備されたことを、メッセージから確認します。

6. 配備状況が「配備済み」になっていることを確認します。
これでファイルのアップロードが完了しました。



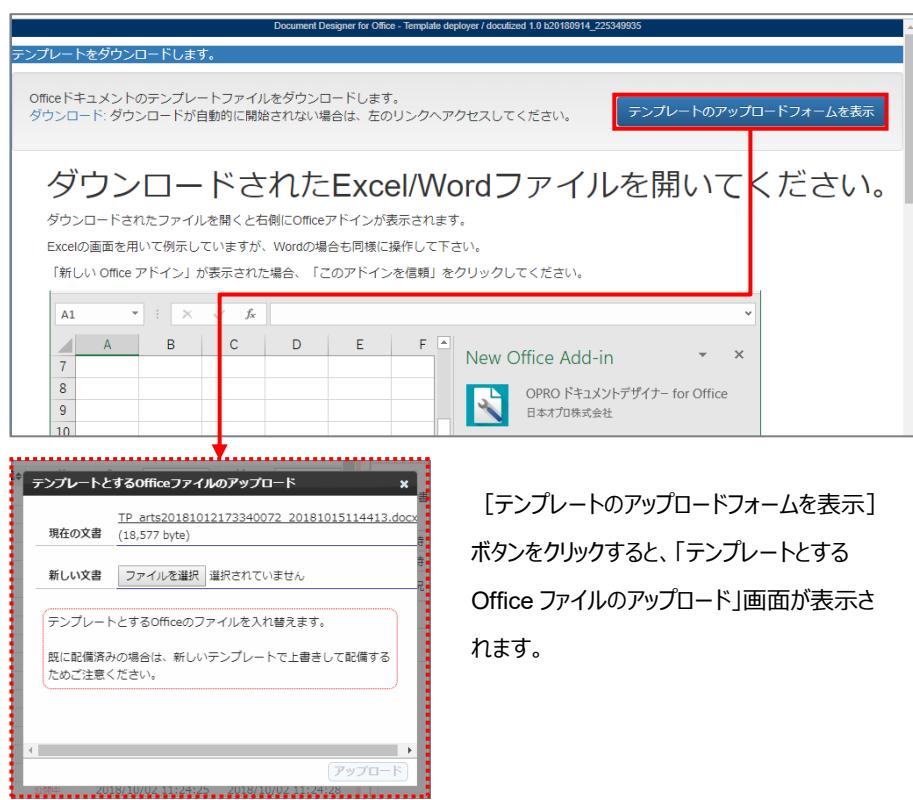
Point

【】ボタンをクリックして、【アップロードフォームを開く】ボタンをクリックしてアップロードすることもできます。



Point

テンプレートをダウンロードする際に、ブラウザに表示された【テンプレートのアップロードフォームを表示】ボタンをクリックしてアップロードすることもできます。



3.2.5 テンプレート作成 | アドイン入り Word アップロード

アドイン入りの Word ファイルをアップロードする前に、Office アドインを追加する必要があります。

次の Point を参考に、Office アドインを追加してください。

Point

ここでは Word 2016 を使用して Office アドインを追加する手順を説明します。

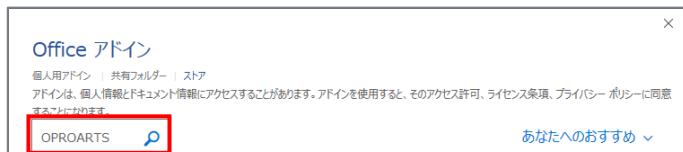
1. Word ファイルを開きます。
2. [挿入] タブ> [マイアドイン] をクリックします。 ※バージョンによっては [個人用アドイン] をクリック



3. 「Office アドイン」のポップアップ画面が表示されます。 [Office ストア] ボタンをクリックします。



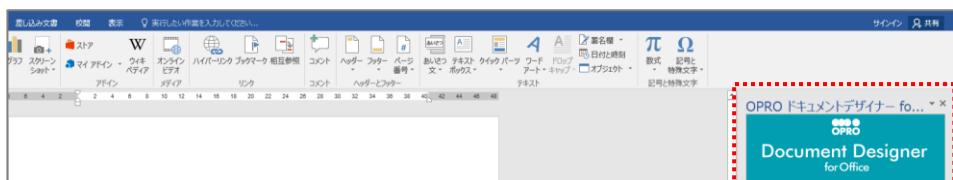
4. 検索用テキストボックスに「OPROARTS」と入力して、 [🔍] ボタンをクリックします。



5. 「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が表示されます。 [追加] ボタンをクリックします。



6. Office アドインの「OPRO ドキュメントデザイナー for Office」が画面右側に追加されます。



他の Office のバージョンでは追加方法が異なりますので、追加方法の詳細は Microsoft のヘルプを参照してください。

参考サイト (2018 年 10 月現在)

<https://support.office.com/ja-jp/article/office-%E3%82%A2%E3%83%89%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%92%E8%A6%8B%E3%81%A4%E3%81%91%E3%82%8B-b022dc72-8ffc-4bfc-b1ff-c3f9a2182964>

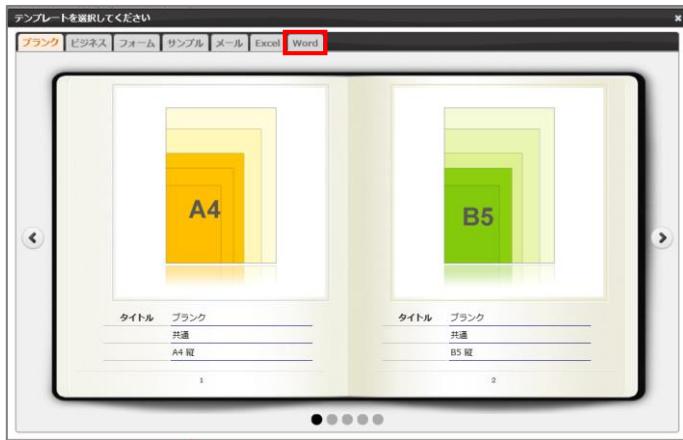
「OPROARTS Designer」にログインします。

アドイン入りの Word 文書をアップロードする手順は次のとおりです。

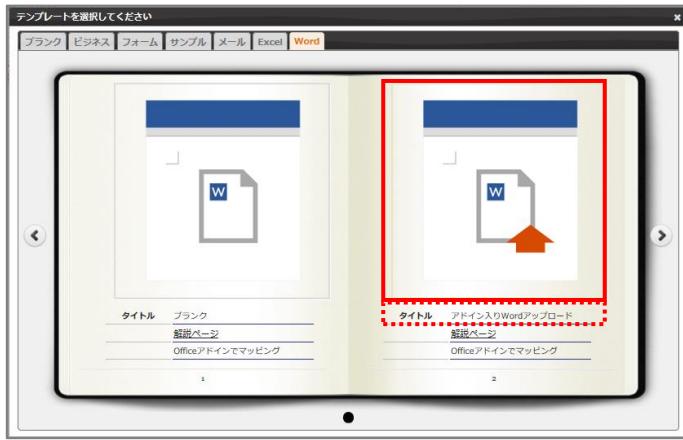
1. 「新規作成」ボタンをクリックします。



2. 「テンプレートを選択してください」画面が表示されます。
[Word] タブをクリックします。



3. タイトルが「アドイン入り Word アップロード」の画像をクリックします。



4. 「新規作成」画面が表示されます。

任意のテンプレート名を入力します。

【ファイルを選択】ボタンをクリックして、テンプレートとしてアップロードするWord文書を選択します。

続けて、【作成】ボタンをクリックします。

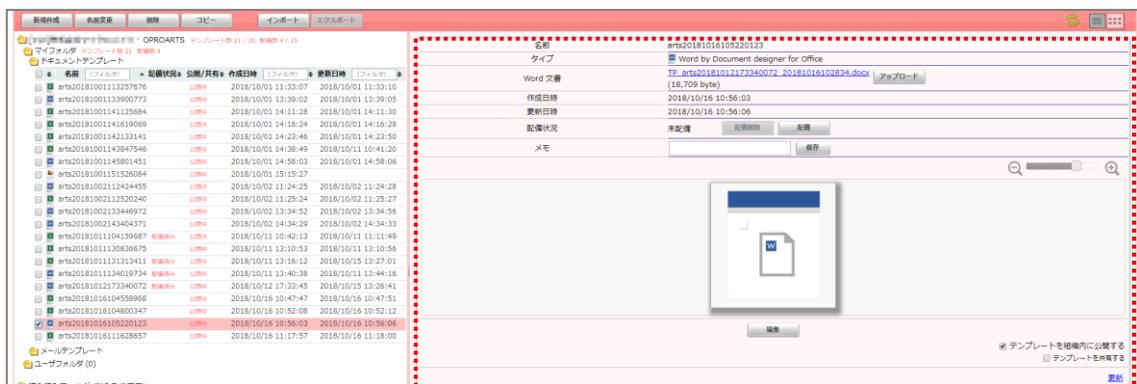
注意

Word上にOfficeアドインが展開されている状態で保存したWord文書を選択してください。

Officeアドインが展開されていないWord文書を選択すると、アップロード時にエラーとなります。



5. メイン画面の右側に、アップロードしたWordのテンプレートが表示されます。



4. その他機能

便利な機能や応用機能について説明します。適宜参考にしてください。

4.1 便利な機能

知っていると便利な機能について説明します。

4.1.1 フィールドを一括で作成する

以下の記号で区切ることで、複数のフィールドを一括で作成できます。

使用できる記号	タブ
	カンマ 「、」 (全角の読点) 「,」 (半角のカンマ)

手順は次のとおりです。

6. 「フィールドを追加」の下にあるテキストボックスに、複数のフィールド名を「、」区切りで入力します。



7. 「+」ボタンをクリックすると、複数のフィールドが追加されます。



4.1.2 アドインを自動で表示する

画面右上のピンボタンを切り替える（[] ⇔ []）ことで、次回同一のファイルを開いた際にアドインを自動的に表示する／表示しないを切り替えることができます。



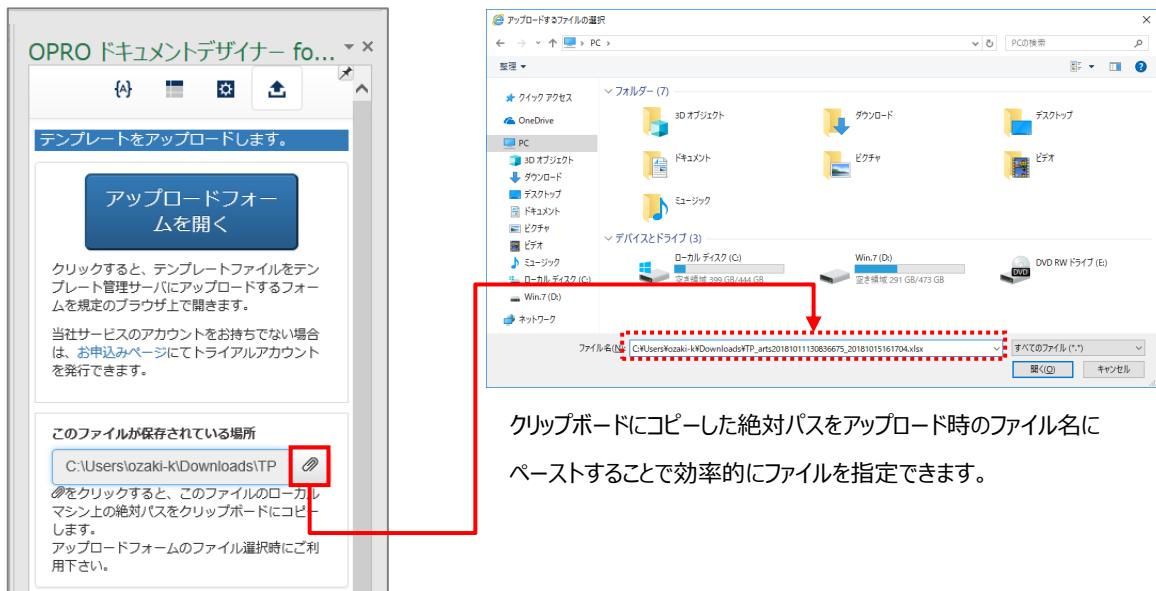
ピンボタンを「ON」にしてファイルを保存すると、
次回起動時にアドインを自動的に表示します。



ピンボタンを「OFF」にしてファイルを保存すると、
次回起動時にアドインを自動的に表示しません。

4.1.3 ファイルの絶対パスをコピー & ペーストする

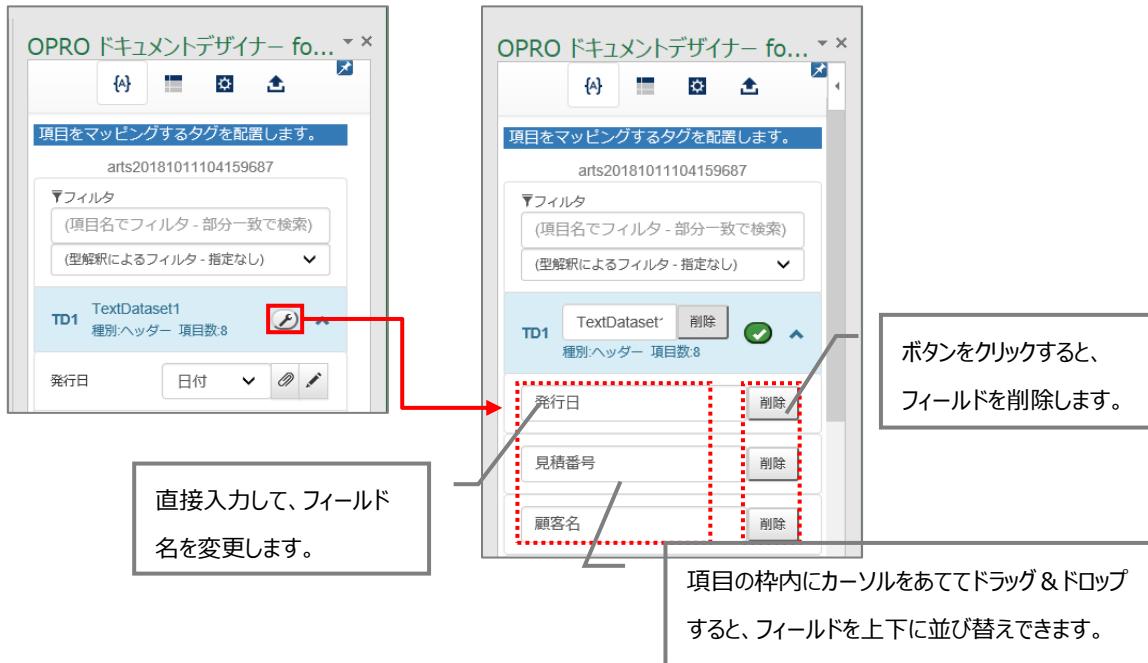
アップロードの際に表示される「このファイルが保存されている場所」の [] ボタン（クリップボタン）をクリックすると、現在編集中のファイルの絶対パスをクリップボードにコピーできます。



クリップボードにコピーした絶対パスをアップロード時のファイル名にペーストすることで効率的にファイルを指定できます。

4.1.4 フィールドを並び替え／リネーム／削除する

[] (レンチアイコン) をクリックすると、フィールドの並び替えやリネーム、削除ができます。

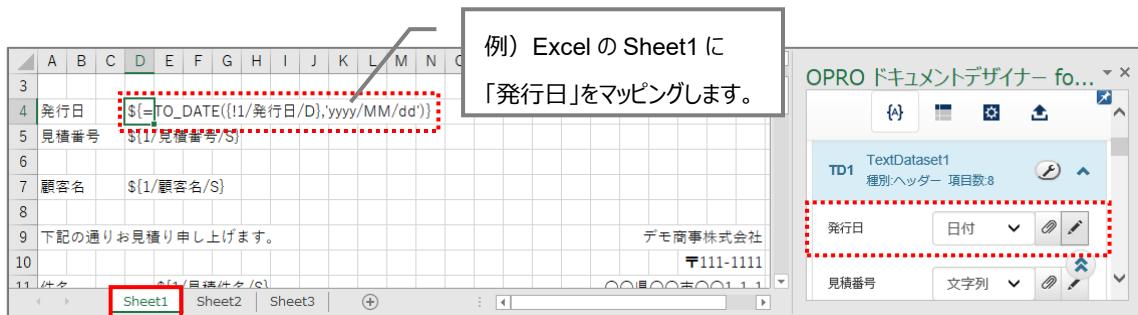


4.2 応用機能

「3. テンプレートのデザイン」に掲載していない機能について説明します。

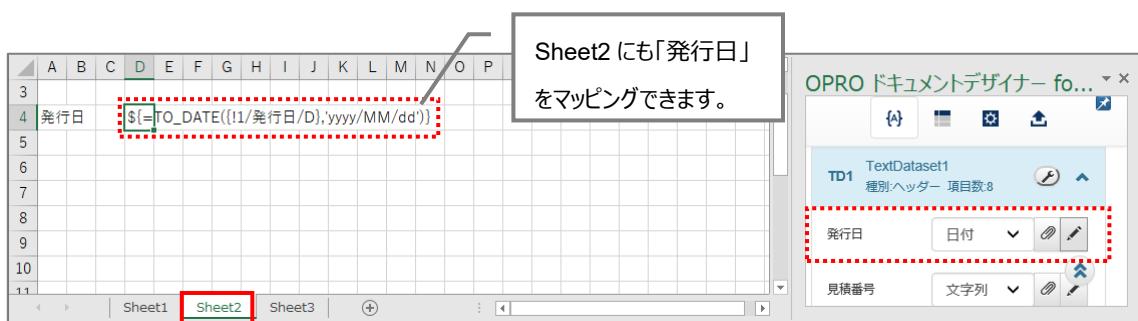
4.2.5 複数シートにマッピングする

Excel の場合、同じブック内にある複数のシートに、同じフィールドをマッピングすることができます。



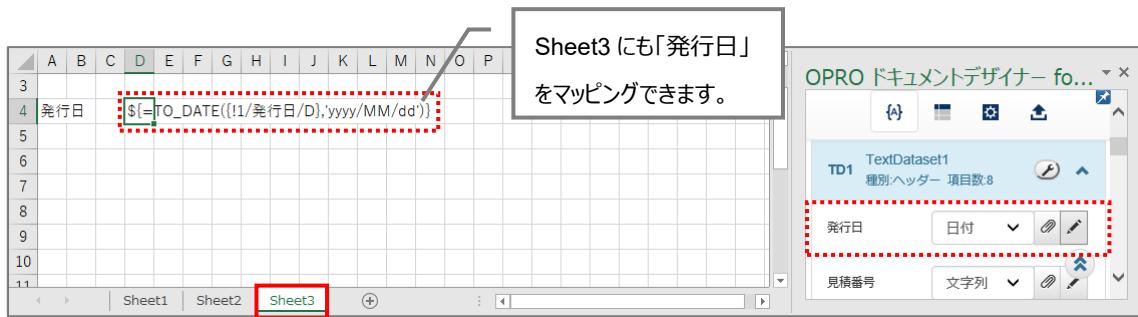
例) Excel の Sheet1 に「発行日」をマッピングします。

Excel の Sheet1 に「発行日」が定義されています。このセルが赤枠で囲まれています。ドキュメントデザイナーでは、TextDataset1 の「発行日」フィールドが選択され、そのマッピングが赤枠で囲まれています。



Sheet2 にも「発行日」をマッピングできます。

Excel の Sheet2 に「発行日」が定義されています。このセルが赤枠で囲まれています。ドキュメントデザイナーでは、TextDataset1 の「発行日」フィールドが選択され、そのマッピングが赤枠で囲まれています。



Sheet3 にも「発行日」をマッピングできます。

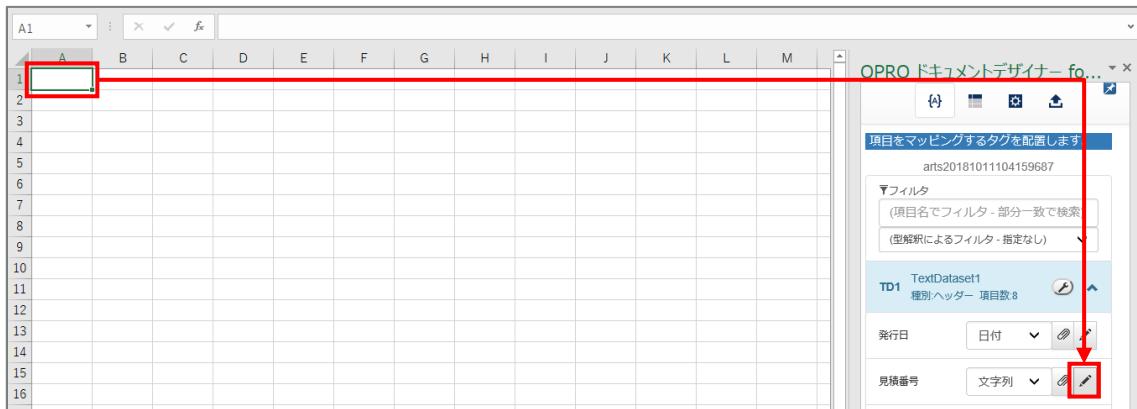
Excel の Sheet3 に「発行日」が定義されています。このセルが赤枠で囲まれています。ドキュメントデザイナーでは、TextDataset1 の「発行日」フィールドが選択され、そのマッピングが赤枠で囲まれています。

4.2.6 同一のセルに複数のフィールドをマッピングする

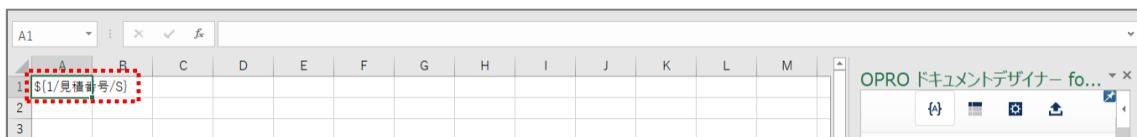
Excel の場合、同一のセルに複数のフィールドをマッピングできます。

手順は次のとおりです。ここでは、「見積番号」と「見積件名」を同一のセルにマッピングします。

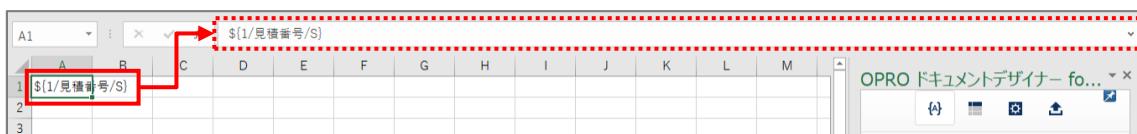
8. 任意のセルを選択し、1つ目のフィールドをマッピングします。



9. タグが埋め込まれます。

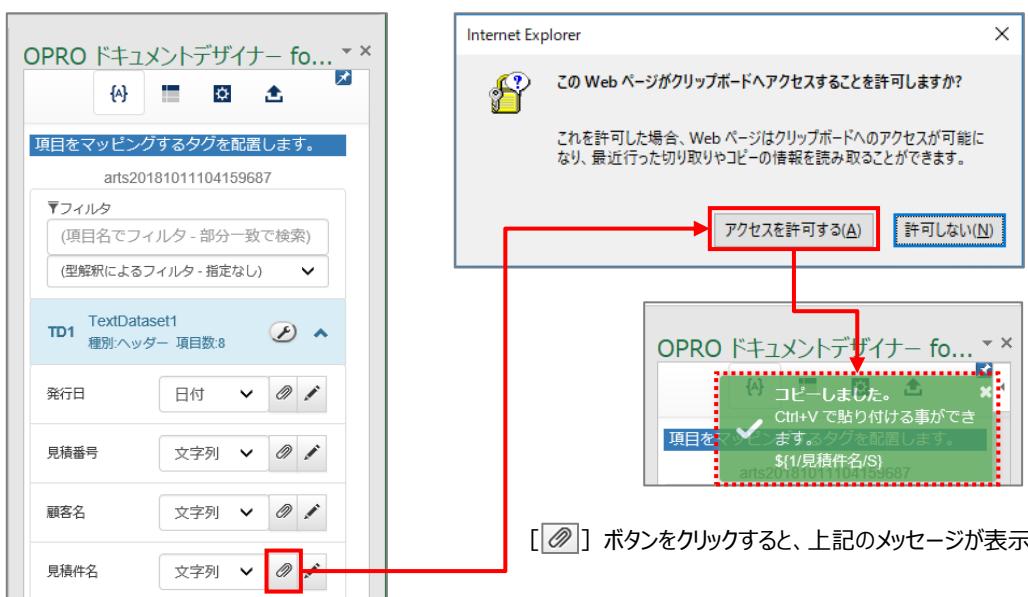


10. タグが埋め込まれたセルをクリックし、数式ボックスにタグを表示します。



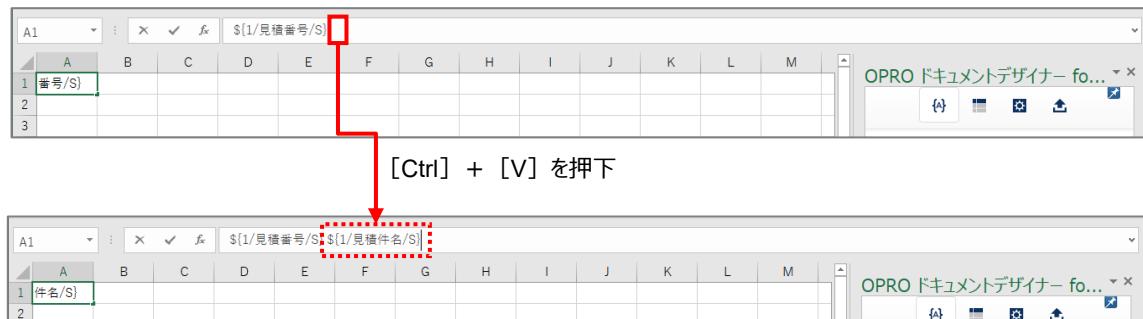
11. 2つ目にマッピングするフィールドの [] ボタン (クリップボタン) をクリックします。

「この Web ページがクリップボードへアクセスすることを許可しますか？」というメッセージが表示された場合は、【アクセスを許可する】ボタンをクリックしてください。



12. 数式ボックスをクリックし、1つ目のタグの末尾にカーソルをあわせてから、必要に応じて半角スペースなどの区切り文字を入力します。

続けて、キーボードで [Ctrl] + [V] を押下すると、2つ目のフィールドがマッピングされます。



4.2.7 行の高さを調整する

Excel の場合、行の高さを調整することができます。

手順は次のとおりです。

13. [⚙️] ボタンをクリックします。

「行の高さを調整するタグ」が表示されます。



14. 行の高さを調整するタグには 3 種類の設定があります。

同一のセルに 1 種類から 3 種類までのタグを設定することができます。

タグ名	設定内容
1 行とみなす字数	指定した文字数を超えると自動的に改行され、行の高さが調整されます。
最低行数	最低限確保する行の高さを指定します。
1 行の高さ	指定がない場合は、既定値として「高さ：14」が適用されます。

5. ビュー定義

ViewFramer でビューを定義します。

5.1 ViewFramer ログイン

最初に、https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui にアクセスし、OPROARTS 認証情報を入力して ViewFramer にログインします。



The image shows the ViewFramer login interface. It features a logo with three overlapping circles in pink, grey, and light blue. The text "ViewFramer" is displayed in a large, bold, grey sans-serif font. Below the logo are three input fields: "CID" with a corresponding input box, "UID" with a corresponding input box, and "UPW" with a corresponding input box. At the bottom is a blue rectangular button with the text "ログイン" in white.

注意

同じウェブブラウザーで複数のビューやマッピングを参照・編集すると上書きされてしまいます。
必ず 1 つのタブで操作してください。
既存のビューを参考にしたい場合は、別のブラウザーで参考にしたいビューを開くようお願いいたします。
ただし、同時編集はできませんので参照のみにしてください。
また、別のブラウザーにした場合も複数のビューを開くことは避けてください。

5.2 ヘッダービューの定義

5.2.1 ビューの作成

「ビュー」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。



Salesforce にログインします。

(以降「現在のセッション情報を継続する」でもログイン可能です。また、以降のスライドではこの画面を省略しています。)



注意

Salesforce との初回接続時は、OAuth 認証画面が表示されます。

以下の手順に沿って、**接続アプリケーションのインストールを必ず行ってください。**

[接続アプリケーションのインストール\(ViewFramer\)](#)

※接続アプリケーションのインストールを行わないと、ViewFramer を使用できなくなります。

5.2.2 ビュー定義: 詳細画面 – 基本設定

基本設定では、ビューの名前とタグ(任意)を設定します。

タグは ViewFramer 内で作成したビューを検索する際のキーワードで、何も指定しなくても構いません。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。例では、「QuotationHeader」としています。

※ ビュー名は半角英数で入力してください。



5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

リレーション設定では、ビューで用いる Salesforce オブジェクトを設定します。

主オブジェクトに「商談」を選択し、ショートネームを入力します。任意ですが、例では以下のように指定しています。

商談 = Opportunity 取引先 = Account

関連オブジェクトには「取引先」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。

設定をしたら「次へ」をクリックします。



<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

主オブジェクトは、起点となるオブジェクトを指定して下さい。(必ずしもボタンを配置するオブジェクトとは限りません。)

関連オブジェクトは、帳票上に使用する主オブジェクト以外のオブジェクトです。参照関係先のオブジェクトも指定する必要があります。今回は、[取引先名]を表示したいため、取引先オブジェクトを関連オブジェクトとしてリレーションを作成しています。

商談レコードに紐づく取引先レコードを取得するために、関連オブジェクトのリレーション設定では「[取引先 ID]=[商談.取引先 ID]」を指定しています。

5.2.4 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

出力項目設定では、帳票に出力する項目を指定します。

「全項目を追加」ボタンで Salesforce オブジェクトのすべての項目を追加することができますが、一つずつ追加する場合は「+」ボタンをクリックして項目を増やし、「項目ビルダー」から内容を指定します。
 「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

「列追加」ボタンをクリックし、オブジェクトと列を選択して追加します。



関数を使用することも可能です。

例ではシステム関数の TODAY() と FORMAT_DATE() を使用しています。



5.2.5 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定できる画面です。

商談に条件を追加します。以下のように設定をしてください。

パラメータ名は任意ですが、今回は「ID」としてください。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 **出力条件設定**

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	項目名	演算子	条件値
1	Opportunity	Limit	未設定の場合は200,000が設定されます。
1	商談 ID	等しい(=)	パラメーター名 ID
2	Account	Limit	未設定の場合は200,000が設定されます。

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す **保存**

5.3 明細ビューの定義

5.3.6 ビュー定義: 詳細画面 – 基本設定

明細用のビューを作成します。明細ビューでは、[商談商品]オブジェクトの定義を行います。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

基本設定

ビュー名 QuotationLineItem

タグ (Enterキーで確定)

戻る 元に戻す 次へ 保存



5.3.7 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

主オブジェクトに「商談商品」を選択し、ショートネームを入力します。任意の名前ですが、例では以下のように設定しています。

商談商品 = OpportunityLineItem 商品 = Product

関連オブジェクトに「商品」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。設定をしたら「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 商談商品 OpportunityLineItem

No 関連オブジェクト

1 商品 Product

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	商品 ID	等しい(=)	0-商談商品	商品 ID

戻る 元に戻す 次へ 保存



<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

ヘッダービューの時と同様に、参照項目先のオブジェクトとリレーションを作成します。

前頁のリレーション設定では、「[商品.商品 ID]=[商談商品.商品 ID]」を指定しています。



5.3.8 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

ヘッダービューと同様に、帳票に出力する項目を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。



5.3.9 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定する画面です。

ヘッダービューと同じように、「商談 ID」が「ID」と「等しい(=)」を指定し、保存します。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 **出力条件設定**

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 OpportunityLineItem Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	商談 ID	等しい(=)	パラメーター ID

2 Product Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

保存

一覧に戻る 戻る 元に戻す

6. マッピング定義

各ビューを一つのデータの固まりとしてまとめ、帳票テンプレートと紐づける「マッピング」の定義を行います。

6.1 マッピングの作成

最初に、「マッピング」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。

マッピング : 一覧

新規 インポート

作成者 マッピング名

6.2 マッピング管理: 詳細画面

マッピング名とタイプを指定します。タイプは「ヘッダー明細型」を選択してください。

主データには、ヘッダービューを指定します。

マッピング : 定義

マッピング名: Simple_Mapping

タグ (Enterキーで確定):

タイプ: ヘッダー明細型

ビューの編集を許可する:

主データ: ヘッダー

ビュー: QuotationHeader

取得

検索結果

No	項目	操作
1	Account	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
2	Remarks	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
3	OpportunityId	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
4	Date	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

明細データ: 明細

ビュー: QuotationLineItem

最大件数: 1000

明細データも、主データと同様に設定を行います。

設定ができたら、「次へ」をクリックしてください。

明細データの名前をつけてます。英数
日本語が使用できます。

明細

明細データ

ビュー QuotationLineItem

最大件数 1000

取得

No 項目

1 ProductName

2 OpportunityId

主データとの結合

県

明細ビューの項目で作成したビューを選択し、「取得」ボタンをクリックしてください。

OpportunityId

主データと明細データを紐づけるキーを設定します。[商談]が同じであることをキーにしたいので、「商談ID」を指定します。

戻る

元に戻す

次へ

6.3 マッピング管理: 出力設定画面

[出力確認]タブの「データ表示」で取得データの確認を行えます。

問題がなければ、[Documentizer]タブをクリックします。

マッピング : 定義 (Simple_Mapping) : 出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

出力情報確認

添付csvファイル

文字コード UTF-8

ファイル リクエストパラメーター名

ファイルを選択 選択されていません

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

ヘッダー

明細

出力条件にパラメータを指定している場合、直接値を入力します。

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備

Point

データ表示の際に、出力バージョン(※)の指定が可能です。

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

ヘッダー

Ver.2
Ver.3

※出力バージョン切り替えの詳細については、以下ページをご参照ください。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(Salesforce\)](#)

注意

ここで指定した出力バージョンが、後に Salesforce 組織に設置する帳票出力ボタンの挙動に影響することはありません。

帳票テンプレートとのマッピングを行います。以下 3 つの設定を行います。

- ① テンプレートを選択
- ② データにビュー定義を指定
- ③ テンプレートの CSV フィールドとビュー定義のデータフィールドをマッピング
(左側「データ」(=テンプレートのフィールド名)と右側「データフィールド」(=ビューの出力項目)を結びつける)

マッピング：定義：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

Documentizer

□ プロパティ

データ ヘッダー

出力ファイル名 Live側の帳票テンプレートを指定します。

□ テンプレート [td1]

「td1」には、[マッピング管理：詳細画面]の主データを選択します。

データ ヘッダー

No	データ	データフィールド	画像
1	Date	Date	
2	Account	Account	
3	Remarks	Remarks	

自動マッピング 「自動マッピング」でテンプレートと簡単にマッピングができます。

「td2」には明細データを指定します。

マッピングが完了したら、「配備」をクリックしてください。

□ td2

データ 明細

No	データ	データフィールド	画像
1	ProductName	ProductName	

自動マッピング

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備

7. 出力アクションの作成

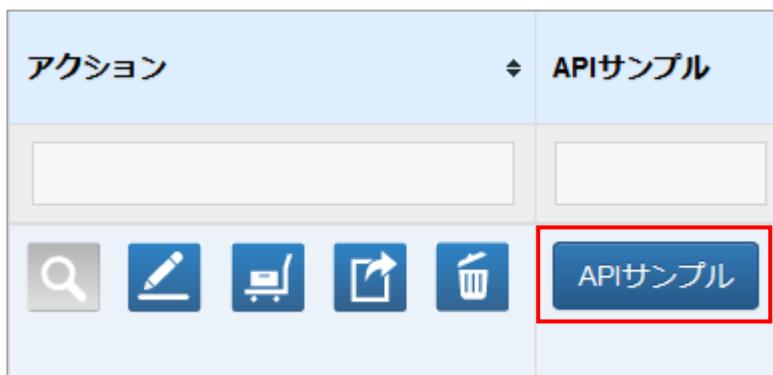
Salesforce のレコード画面から帳票を出力するアクションを作成します。

Salesforce のレコード画面から ViewFramer で帳票出力をするためには、出力をリクエストするアクションを Salesforce 上に作成する必要があります。

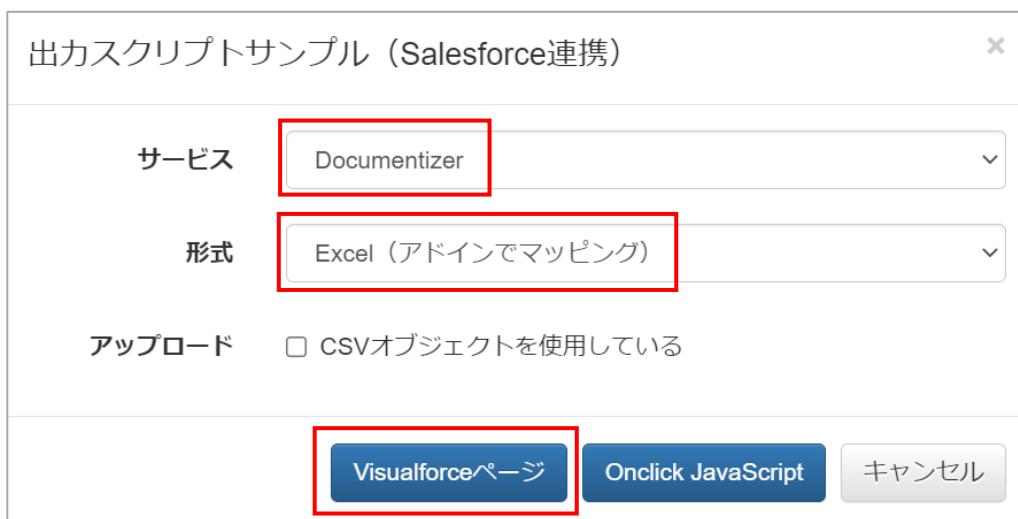
ここでは、1. 詳細ページに出力アクションを配置する場合と、2. リストビューに出力アクションを配置する場合を説明します。

7.1 詳細ページに出力アクションを配置する

1. ViewFramer のマッピング一覧画面で、呼び出したいマッピングの「API サンプル」欄にある[API サンプル]ボタンをクリックします。

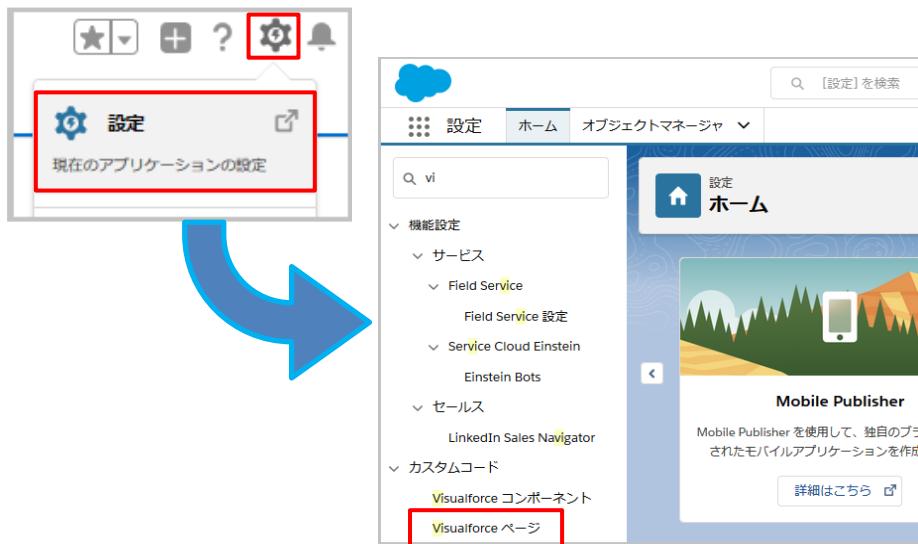


2. サービスは「Documentizer」、形式は Excel 出力の場合「Excel (アドインでマッピング)」を選択、Word 出力の場合「Word (アドインでマッピング)」を選択し、[Visualforce ページ]ボタンをクリックします。



クリックすると、API サンプルのテキストファイルがダウンロードされます。

3. ダウンロードしたテキストファイルを開き、内容をコピーします。
4. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



5. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



Visualforce ページ

Visualforce ページで、好みのユーザエクスペリエンスのアプリケーションを作成したり、ユーザの生産性を最適化できるよう既存アプリケーションをカスタマイズしたりできます。

ビューアー: すべて 新規ビューの作成

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | O

開発者センター 新規

このページのヘルプ ?

ページの編集 保存 通用 キャンセル 使用場所 コンポーネントの参照 プレビュー

ページ情報

表示ラベル: 見積
名前: mitumori
説明:

Lightning Experience、Lightning Community、およびモバイルアプリケーションで利用可能

GET 要求の CSRF 保護が必要

Visualforce Markup Version Settings

```

<apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false" showHeader="false" sidebar="false">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>Viewframer - Simple_Mapping</title>
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
<div class="slds-p-vertical_x-small">
<div class="slds-text-heading_small">実行しています...</div>
<p class="slds-text-body_regular"><a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a></p>
</div>
</div>
<apex:includeScript value="/canvas/sdk/js/publisher.js" />
<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.50.js" />
<script type="text/javascript">
function submitAction() {
/* if (!window.confirm('実行しますか?')) { return; } */

VIEWFRAMER.action({
mappingNm:'Simple_Mapping',
fileName:'Simple_Mapping',
ID:'{!!$JSENCODE($Opportunity.Id)}',
url:'{!!$JSENCODE($Opportunity.Id)}','{!!$JSENCODE($User.Id)}','{!!$JSENCODE($Opportunity.ID)}','{!!$JSENCODE($Api.Session_ID)}','{!!$JSENCODE($Api.Partner_Server_URL_400)}'
).url('').withSI('').excelMergeDDO();

VIEWFRAMER.publisherClose();
}
VIEWFRAMER.addOnLoadHandler(function () { submitAction(); });
</script>

```

Position: Ln 37, Ch 10 | Total: Ln 40, Ch 1361

表示ラベル(例)

見積

名前(例)

mitumori

「Lightning Experience～」

チェックを入れる

内容

2 でコピーした内容

Point

2でコピーした内容の

「<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.**.js" />」の箇所について

- デフォルトでは、2020年10月26日以降の出力バージョン(v3)で帳票出力されます。
1.** の部分が、1.60 以上のバージョンになっていることを確認してください。
例: <apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.60.js" />
- 2020年10月25日以前の出力バージョン(v2)で帳票出力をしたい場合は
「<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-1.50.js" />」に書き換
えてから Visualforce ページを保存してください。

出力バージョン(v2、v3)の違いは以下ページに記載の通りです。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(Salesforce\)](#)

Point

ボタンを設置する組織で使用するOPROARTS Connector の種類に合わせて、

「VIEWFRAMER.action({...}以下に

以下の記述を追記してください。

- soarize OPROARTS Connector の場合

nsPrefix:"appsf",

- docutize OPROARTS Connector の場合

nsPrefix:"docutize",

- OPROARTS Connector ver2.0 以降 (※)

nsPrefix:"oproarts1",

- OPROARTS Connector ver1.34 以前 (※)

上記のいずれも指定していない状態にします。

※OPROARTS Connector のバージョンは、Salesforce の「設定」>「インストール済みパッケージ」画面にてご確認
ください。

以下、設定例です。

```
VIEWFRAMER.action({  
  
    mappingNm:'SampleMappingName',  
  
    fileName:'SampleFileName',  
  
    nsPrefix:"oproarts1",
```

6. アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



7. [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



8. 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力

オブジェクト名 商談 i

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ 見積 [mitumori] i

高さ 250 ピクセル i

標準の表示ラベル種別 --なし-- i

表示ラベル

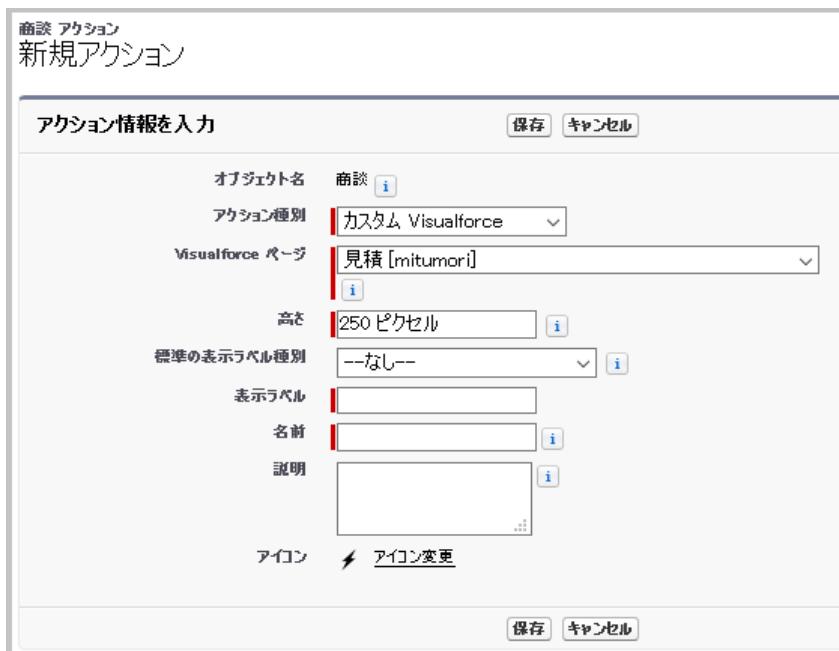
名前

説明

アイコン ⚡ [アイコン変更](#)

保存 キャンセル

保存 キャンセル



This screenshot shows the 'New Action' configuration screen for a Quotation Visualforce page. The 'Object Name' is set to '商談' (Quotation). The 'Action Type' is 'カスタム Visualforce' (Custom Visualforce). The 'Visualforce Page' is set to '見積 [mitumori]'. The 'Height' is '250ピクセル'. The 'Standard Label Type' is '--なし--'. The 'Label' field contains '見積書発行'. The 'Name' field contains 'Quotation'. The 'Description' field is empty. The 'Icon' field has a lightning bolt icon and a 'Change Icon' link. At the bottom, there are 'Save' and 'Cancel' buttons.

アクション種別

カスタム Visualforce を指定

Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

高さ

変更なし

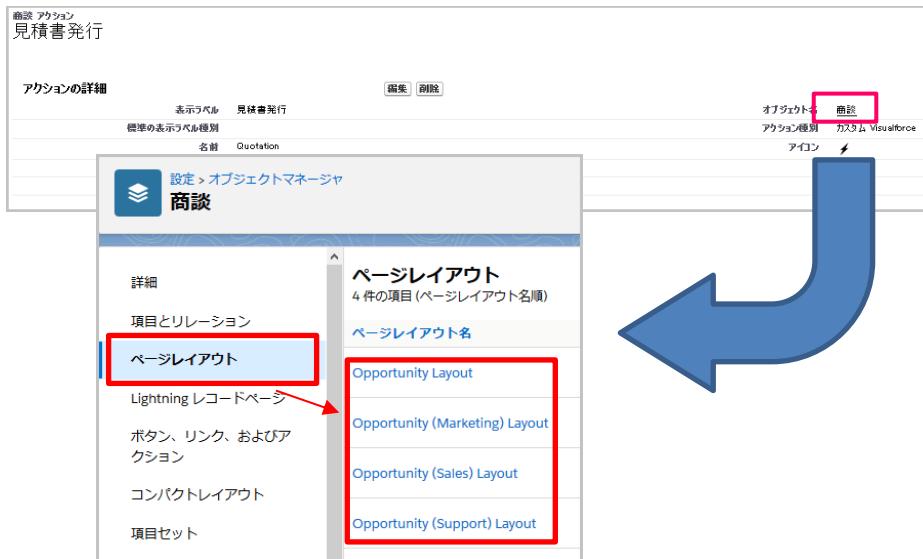
表示ラベル(例)

見積書発行

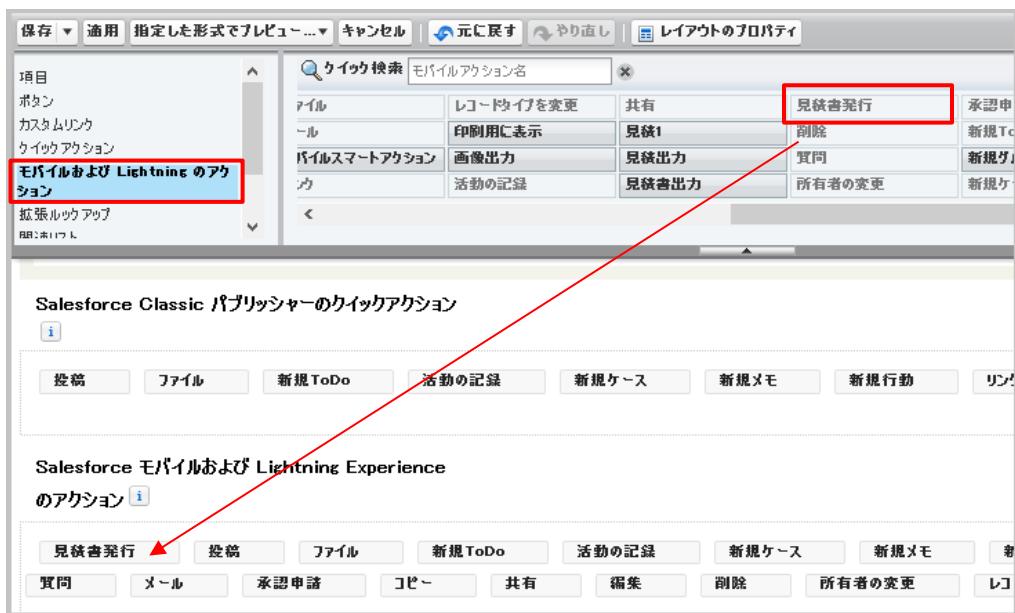
名前(例)

Quotation

9. 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。



10. レイアウト編集画面の「モバイルおよび Lightning のアクション」メニューをクリックし、7 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



11. [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。



12. 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認します。



7.2 リストビューに出力アクションを配置する

1. ViewFramer でリストビューから帳票出力する場合、リクエストパラメータの ID 部分に複数のオブジェクトレコード ID が入ります。そのため、ビューの出力条件設定が詳細ページ用のものと異なります。
よって、リストビュー用のヘッダービュー、明細ビューを作成する必要があります。
2. リストビュー用のヘッダービューを作成します。
基本設定で詳細ページ用ヘッダービューと異なるビュー名を付けたら、その他のリレーション設定、出力項目設定については詳細ページ用のヘッダービューと全く同様に設定します。
出力条件設定にて、詳細ページ用のヘッダービューでは「等しい(=)」であった部分をリストビュー用のヘッダービューでは「いずれかと等しい(IN)」に指定します。

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	取得元
1	Opportunity

Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	商談 ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ名 ID

3. ヘッダービューと同様、明細ビューもリストビュー用のものを作成します。

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	取得元
1	OpportunityLineItem

Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	商談 ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ ID

4. 詳細ページ用のマッピングと同様に、作成したリストビュー用のヘッダービューと明細ビューを用いてマッピングを新規作成します([マッピング作成セクション](#)参照)。

以下の説明では、新たに作成したヘッダービューを「Simple_Header_View_Listview」、新たに作成した明細ビューを「Simple_Lineitem_View_Listview」、新たに作成したマッピングを「Simple_Mapping_Listview」としています。

マッピング : 定義

マッピング名	Simple_Mapping_Listview	
タグ (Enterキーで確定)		
タイプ	ヘッダー明細型	
ビューの編集を許可する	<input checked="" type="checkbox"/>	
主データ		
ビュー	ヘッダー	
ビュー	Simple_Header_View_Listview	
No	項目	検索結果
1	Account	<input checked="" type="checkbox"/>
2	Remarks	<input checked="" type="checkbox"/>
3	OpportunityId	<input checked="" type="checkbox"/>
4	Date	<input checked="" type="checkbox"/>
明細データ		明細
ビュー	Simple_Lineitem_View_Listview	
最大件数	1000	

5. マッピングを作成したら、[こちらのページ](#)に添付されている「リストビュー用 ViewFramerZIP_exceladdin.txt」をダウンロードし、ページ記載内容を参考に Visualforce ページの内容を書き換えます。

(例)

```

<apex:page standardController="Opportunity" sidebar="false" applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" lang="ja">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>ViewFramer list button</title>
<apex:lds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
<div class="slds-p-vertical_x-small">
<h1 class="slds-text-heading_small">実行しています…</h1>
<p class="slds-text-body_regular">
<a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
</p>
</div>
</div>
<apex:variable var="noCheckbox" value="(!$User.UITheme == 'Theme4t')"/>
<script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
<script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-zip-1.60.js"></script>
<script type="text/javascript">
function getSelectedIds() {
    var selectedIds = ['<apex:repeat value="{!selected}" var="record">'{!JSENCODE(record.Id)}</apex:repeat>'];
    selectedIds.shift();
    if (selectedIds.length !== 0) {
        return selectedIds;
    }
    var displayedIds = ['<apex:repeat value="{!displayed}" var="record" rendered="noCheckbox">'{!JSENCODE(record.Id)}</apex:repeat>'];
    displayedIds.shift();
    return displayedIds;
}
function submitAction() {
/* if (!window.confirm('実行しますか?')) { return; } */

    var ids = getSelectedIds();
    if (ids.length === 0) {
        window.alert('リストビューで選択した複数のレコード ID が入った値です');
        window.history.back();
        return;
    }
    VIEWFRAYER_ZIP.action({
        mappingName:'Simple Mapping Listview',
        fileName:'見積リスト',
        ID:ids,
        zipTarget:'ID',
        api:[{!JSENCODE($Organization.Id)}, {!JSENCODE($Api.Session_ID)}],
        url('').withS1('').excelMergeDDO()
    });
}

```

アクションを設置するオブジェクトの API 参照名です

リストビューで選択した複数のレコード ID が入った値です

ここに入っているレコード ID の商談オブジェクトについて、帳票が出力されます

「zipTarget:****」を追加する
※****には、出力条件に指定しているパラメータ名を入れる

デザインした帳票テンプレートに合わせて出力形式を指定します。
「pdf」の部分を Excel 帳票は「excelMergeDDO」に、Word 帳票は「wordMergeDDO」に変更します。

Point

上記内容の

「<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-zip-1.**.js" />」の箇所について

- デフォルトでは、2020 年 10 月 26 日以降の出力バージョン(v3)で帳票出力されます。

1.** の部分が、1.60 以上のバージョンになっていることを確認してください。

例: <apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-zip-1.60.js" />

- 2020年10月25日以前の出力バージョン(v2)で帳票出力をしたい場合は
「<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/viewframer/js/viewframer-zip-1.50.js" />」に
書き換えてからVisualforceページを保存してください。

出力バージョン(v2、v3)の違いは以下ページに記載の通りです。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法（Salesforce）](#)

Point

ボタンを設置する組織で使用するOPROARTS Connectorの種類に合わせて、

「VIEWFRAMER_ZIP.action({...}」以下に

以下の記述を追記してください。

■soarize OPROARTS Connector の場合

nsPrefix:"appsf",

■docutize OPROARTS Connector の場合

nsPrefix:"docutize",

■OPROARTS Connector ver2.0 以降（※）

nsPrefix:"oproarts1",

■OPROARTS Connector ver1.34 以前（※）

上記のいずれも指定していない状態にします。

※OPROARTS Connector のバージョンは、Salesforce の「設定」>「インストール済みパッケージ」画面にてご確認ください。

以下、設定例です。

```
VIEWFRAMER_ZIP.action({  
  
    mappingNm:'SampleMappingName',  
  
    fileName:'SampleFileName',  
  
    nsPrefix:"oproarts1",
```

6. 5で書き換えたファイルの内容を用いて詳細ページの出力アクション 2~6 の手順を行い、「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談のカスタムボタンまたはカスタムリンクの編集
見積書一括発行

カスタムボタンまたはカスタムリンクの編集

表示ラベル 保存 適用 プレビュー キャンセル

名前 ?

説明

表示の種類 詳細ページリンク サンプルを表示
 詳細ページボタン サンプルを表示
 リストボタン サンプルを表示
 チェックボックスの表示(複数レコード選択用)

動作 動作オプションの表示

内容のソース ▼

コンテンツ ▼

保存 適用 プレビュー キャンセル

表示ラベル(例)

見積書一括発行

名前

QuotationPackage

表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

動作

現在のウインドウにサイバー付きで表示 を指定

内容

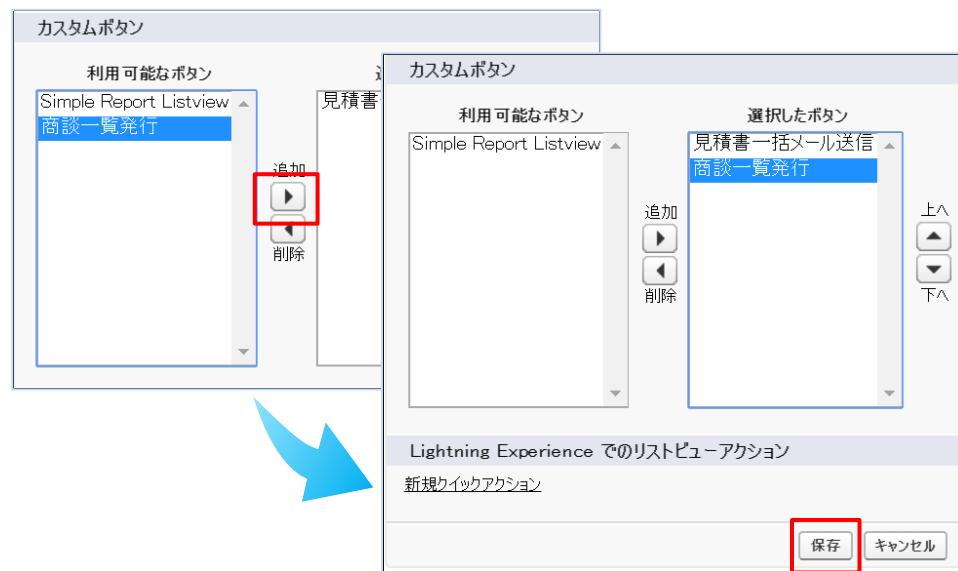
コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

7. 設定>オブジェクトマネージャ>商談画面の[Salesforce Classic の検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。

※ [Salesforce Classic の検索レイアウト]メニューがない場合、[検索レイアウト]メニュー内のリストビューを編集します。



8. 6で作成したボタンを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。



9. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

※「すべての商談」を選択してください。



	商談名 ↑	取引先名	金額	完了予定日	フェーズ	商談所...
1	Burlington Textiles Weaving Plant Generator	Burlington Textiles Corp of America	¥ 235,000	2018/02/23	Closed Won	
2	Dickenson Mobile Generators	Dickenson plc	¥ 15,000	2018/02/02	Qualification	
3	Edge Emergency Generator	Edge Communications	¥ 75,000	2018/04/19	Closed Won	
4	Edge Emergency Generator	Edge Communications	¥ 35,000	2018/04/25	Id. Decision Makers	
5	Edge Installation	Edge Communications	¥ 50,000	2018/02/08	Closed Won	

※補足

リストビューから帳票出力した場合、詳細ページから出力できる Excel ブック / Word 文書が画面に表示されているレコードすべてについて生成され、1 つのアーカイブファイルにまとめられて出力されます。

ViewFramer

ユーザーガイド

Salesforce ver.

(Excel/Word

Office アドイン/

ヘッダー明細)